CQX1A1500Z

TEAC

# 取扱説明書

# CR-H500NT

## AM/FM ステレオCDレシーバー

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに
大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like).
An independent license for such use is required. For details, please visit http://mp3licensing.com.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.



“Made for iPod” means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

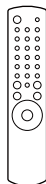
# 目　次

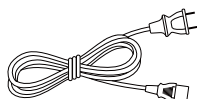
# お使いになる前に



## 付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(裏表紙に記載)にご連絡ください。

リモコン(RC-1225)×1

リモコン用乾電池(単4)×2

電源コード×1

AMループアンテナ×1

FMアンテナ×1

取扱説明書(本書)×1

保証書×1

## 使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
- 再生中はディスクが高速回転しているので本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- 本機がスタンバイ状態のときは、待機電力が消費されます。

### お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

# 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

## 警告

**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。**

電源プラグをコンセントから抜け

### 万一、異常が起きたら

**煙が出たり、変なにおいや音がするときは。**

**機器の内部に異物や水などが入ったときは。**

**この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。**

すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。

禁止

**電源コードを傷つけない。**

**電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。**

**電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。**

コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。

**電源プラグにほこりをためない。**

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

**交流100ボルト以外の電圧で使用しない。**

この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。

**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。**

内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

分解禁止

**この機器のキャビネットは絶対に外さない。**

キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。

**この機器を改造しない。**

火災・感電の原因となります。

強制

**この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。**

**ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。**

機器のまわりにすきまがないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

## 注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

強制

**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。**
**また、接続は指定のコードを使用する。**
それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。

**電源を入れる前には音量を最小にする。**
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

**この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。**
異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止

**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。**
**湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。**
**調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。**
火災・感電やけがの原因となることがあります。

**この機器の付属の電源コードセットを他の機器に使用しない。**
故障、火災、感電の原因となります。

**電源コードを熱器具に近付けない。**
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。**
感電の原因となることがあります。

**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。**
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグをコンセントから抜け

**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。**
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

**旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。**

**お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。**
感電の原因となることがあります。

# 安全にお使いいただくために(続き)

## 電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

 **注意** 乾電池に関する注意

| | |
|---|---|
|  禁止 | **乾電池は絶対に充電しない。**<br>破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。 |

 **注意** 電池に関する注意

| | |
|---|---|
|  強制 | **電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。**<br>間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |
| | **長時間使用しないときは電池を取り出しておく。**<br>液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。 |
|  禁止 | **指定以外の電池は使用しない。**<br>**新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。**<br>破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |
|  分解禁止 | **金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。**<br>ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。 |
| | **分解しない。**<br>電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。 |

愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

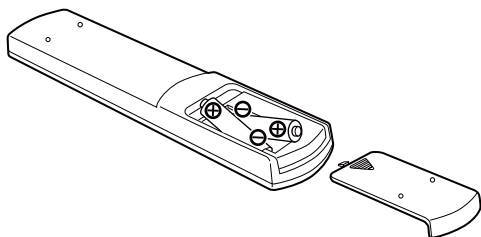
# リモコンの使い方

## 使用上の注意

⚠ **乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。6ページの注意をよく読んでお使いください。**

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

## 電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて乾電池(単4形)2本を入れて、フタを閉めてください。

## 電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

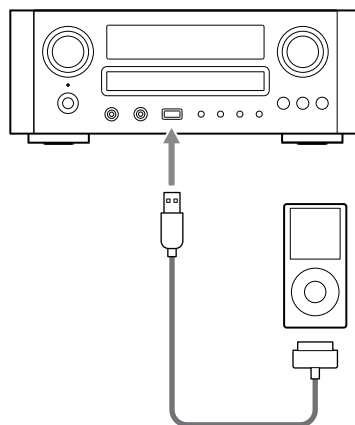
# iPodについて

以下のiPodを本機に接続して使うことができます。

iPod (第5世代)
iPod Classic
iPod nano (第1世代〜第5世代)
iPod Touch (第1世代〜第3世代)

- 以下のiPodでは、本機のディスプレーのダイレクトモード(32ページ)、目覚まし/録音タイマー (45ページ)が使えません。

  iPod (第5世代)
  iPod nano (第1世代、第2世代)

- 本機では、iPodのビデオは出力できません。
- 本機では、iPodシャッフルは使用できません。
- 本機のUSBポートにiPodを接続するには、iPodに付属のUSBケーブルをお使いください。

## iPod用ソフトウェア

お使いのiPodが本体やリモコンの操作ボタンで正常に動作しない場合、最新のiPodソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。
下記サイトにアクセスして最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

http://www.apple.com/jp/downloads/

## 本機で使用できるiPod

本機で使用できるiPodについては、下記の弊社ホームページのiPod対応表をご覧ください。

http://www.teac.co.jp/audio/teac/support_ipod.html

# ディスクについて

## 本機で再生できるディスク

「Compact Disc Digital Audio」ロゴマークのあるCD
(12cm/8cm)

**音楽CDフォーマットで正しく記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。**
**または、MP3ファイルが記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。**

⚠ **上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。**

● ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。

● ビデオCD、CD-ROMなどはディスクを読み込むことはできますが、再生しても音が出ません。

● DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD-ROMなどは本機で読み込むことはできません。また、再生もできません。

● コピーコントロールCDやDual Discなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

## CD-R/CD-RWについて

本機は音楽CDフォーマット(CD-DA)で記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

● CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。

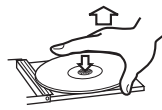
● ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。

● CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

## ディスクの取扱い

● ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。

● 信号録音面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、録音/再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。

● ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

取り出し方　　　持ち方

## 使用上の注意

● ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

● ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

● ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。

● 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。

● ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

## お手入れ

● 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。

● レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

## ディスクの保存について

● 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

● 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。

● CD-R/CD-RWは、通常のCDと比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。

● ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

# MP3/WMAについて

本機は、USBフラッシュメモリーやMP3プレーヤー、ハードディスクなど、いろいろな外部機器に記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。

● ハードディスクのフォーマットはFATまたはFAT 32にしてください。NTFSには対応していません。

● 本機で再生できるMP3ファイルは、モノラルまたはステレオのMPEG-1 Audio Layer 3フォーマットで、サンプリングレートが44.1または48kHz、ビットレートが320kbps以下のファイルとなります。

● 本機で再生できるWMAファイルは、サンプリングレートが44.1または48kHz、ビットレートが192kbps以下のファイルとなります。
WMAはWindows Media Playerの略称です。

## ファイル名の表示について

本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。

● ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、本機で正しく表示できません。

## パソコンなどを使って MP3/WMAファイルを作成する際のご注意

● ファイル名には必ず拡張子を付けてください。MP3ファイルの認識はファイル拡張子「.mp3」、WMAファイルの認識はファイル拡張子「.wma」で行います。

● MP3/WMAファイルを作成する際に、使用するソフトウェアのマニュアルをよくお読みください。

## 本機で正常に再生できない場合

● 拡張子「.mp3」/「.wma」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子をつけていてもMP3/WMAデータ形式でないファイルは再生できません。

● 可変ビットレートで記録されたファイルは、正常に再生できないことがあります。

● ファイル数が2000を超えて記録してあるUSBメモリーは、正常に再生できないことがあります。

# 各部の名称（本体）

A
B
C
D
E
MULTI JOG
VOLUME
STANDBY/ON
PHONES
AUX 2 IN
USB
SOURCE
MENU/
FM MODE
BACK
FWD
TUNING MODE/
ENTER
INFO
BAND
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
HDD

**A** 選局/スクロールつまみ [MULTI JOG]

ラジオ受信中に、選局に使用します。また、プリセットした放送局の選択に使います。
また、目覚ましタイマー、録音タイマーの設定に使用します。
USB/iPodモードでiPodを接続したときは、iPodのメニューのスクロールに使います。

スキップつまみ [I◀◀ / ▶▶I]

CDモード、USB/iPodモードで、前または後ろの曲にスキップします。

**B** リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をここに向けて操作してください。

**C** ディスプレー

**D** ディスクトレー

**E** 音量つまみ [VOLUME]

音量を調節します。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

- 調節した後に電源をスタンバイ（オフ）にしても、音量レベルは記憶されます。

**F** 電源ボタン [STANDBY/ON]

電源のオン/スタンバイ(オフ)を切り換えます。
スタンバイ（オフ）のときは、電源ボタンの上のインジケーターが赤く点灯します。電源がオンのときは、インジケーターは青く点灯します。

**G** ヘッドフォン端子 [PHONES]

ヘッドホンをお使いになるときは、まず音量を最小にしてからヘッドホンプラグを接続し、徐々に音量を調節してください。ヘッドホン端子の使用中は、スピーカーからは音が出ません。

⚠ 注意

**ヘッドホンを耳にかけたまま、電源のオン/オフ、またはヘッドホン端子の抜き差しを行わないでください。ヘッドホンから大きな音が発生することがあります。**

**H** 音声入力端子 [AUX 2 IN]

市販のステレオミニプラグケーブルを使って、携帯型オーディオプレーヤーなどのヘッドホン端子(または音声出力端子)と接続して、本機で音声を再生します。

**I** USBポート [USB]

iPodやUSBメモリーに接続します。

**J** 入力切替ボタン [SOURCE]

このボタンを押すたびに入力ソースが切り換わります。

**K** メニューボタン [MENU]

USB/iPodモードでiPodを接続したとき、iPodのMENUボタンと同じように、前のメニューに戻るのに使います。

FMモードボタン [FM MODE]

FMラジオ受信中に、ステレオとモノラルを切り替えます。

**L** スキップボタン [I◀◀ / ▶▶I]

CDモード、USB/iPodモードで、前または後ろの曲にスキップします。

サーチボタン [ ◀◀/▶▶ ]

CDモード、USB/iPodモードで、再生中に押し続けると早送り/早戻しができます。

バックボタン [BACK]

各種設定のとき、前のメニューに戻ります。

**M** チューニングモードボタン [TUNING MODE]

AM/FMラジオ受信中に、チューニングモードを選択します。

エンターボタン [ENTER]

USB/iPodモードでiPodを接続したとき、iPodのクリックホイール中央のボタンと同じように、iPodメニューの選択の確認に使います。
また各種設定のとき、メニューの選択の確認に使います。

開閉ボタン [⏏]

CDモードで、ディスクトレーを開閉します。

**N** 情報表示ボタン [INFO]

インターネットラジオでディスプレーに表示される情報を切り換えます。

停止ボタン [■]

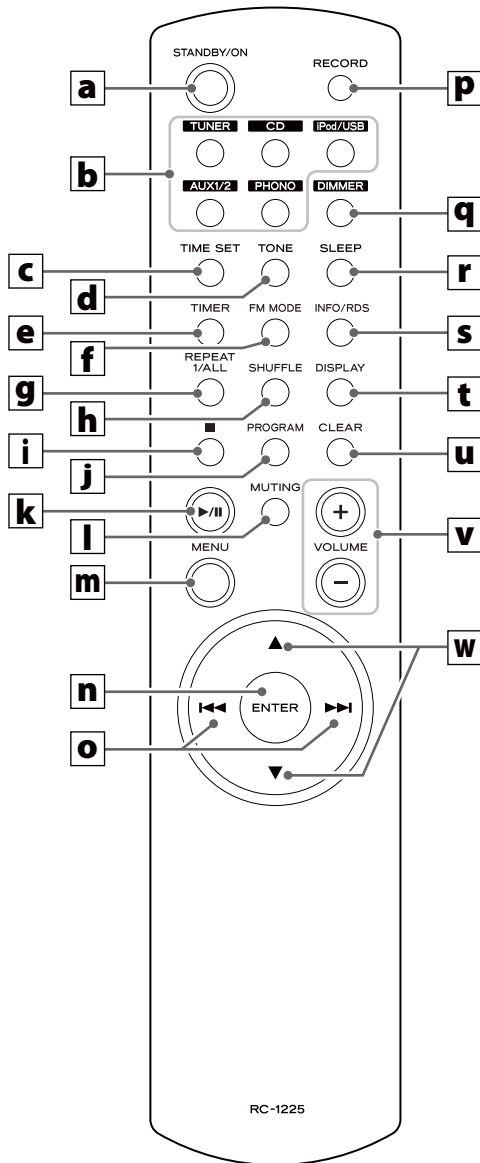
CDモード、USB/iPodモードで、再生を停止します。

**O** バンドボタン [BAND]

チューナーモードのとき、AM/FM/インターネットラジオを切り換えます。

再生/一時停止ボタン [▶/II]

CDモード、USB/iPodモードで、再生/一時停止に使います。

# 各部の名称(リモコン)

**a** 電源ボタン [STANDBY/ON]

電源のオン/スタンバイ(オフ)を切り換えます。
スタンバイ（オフ）のときは、本体の電源ボタンの上のインジケーターが赤く点灯します。電源がオンのときは、インジケーターは青く点灯します。

**b** 入力切替ボタン

入力ソースを切り換えます。

[TUNER] . . . . . . チューナーモード

● 繰り返し押すと、AM/FM/インターネットラジオが切り替わります。

[CD]. . . . . . . . . . CDモード

[iPod/USB] . . . . iPod/USBモード

[AUX 1/2] . . . . 外部入力(AUX)モード

● 繰り返し押すと、AUX 1とAUX 2が切り替わります。

[PHONO]. . . . . . レコードプレーヤーモード

**c** 時刻設定ボタン [TIME SET]

現在時刻の設定や、目覚ましタイマー、録音タイマーの設定に使います。

**d** トーンボタン [TONE]

スクロールボタン [▲/▼]と一緒に、低音と高音の調節に使います。

**e** タイマーボタン [TIMER]

目覚ましタイマー、録音タイマーのオンとオフを切り換えます。

**f** FMモードボタン [FM MODE]

FMラジオ受信中に、ステレオとモノラルを切り替えます。

**g** リピート 1/ALLボタン [REPEAT 1/ALL]

CDモード、USB/iPodモードで、リピート再生に使用します。

**h** シャッフルボタン [SHUFFLE]

CDモード、USB/iPodモードで、シャッフル再生に使用します。

**i** 停止ボタン [■]
CDモード、USB/iPodモードで、再生を停止します。

**j** プログラムボタン [PROGRAM]
CDモード、またはUSB/iPodモードでUSB機器を接続したとき、プログラム再生に使います。
AM/FMラジオ受信中に、放送局をプリセットに記憶させるのに使います。

**k** 再生/一時停止ボタン [▶/❚❚]
CDモード、USB/iPodモードで、再生/一時停止に使います。

**l** 消音ボタン [MUTING]
一時的に音を消します。

**m** メニューボタン [MENU]
USB/iPodモードでiPodを接続した時、iPodのMENUボタンと同じように、前のメニューに戻るために使います。

**n** エンターボタン [ENTER]
USB/iPodモードでiPodを接続した時、iPodのクリックホイール中央のボタンと同じように、iPodメニューの選択の確認に使います。
また各種設定のとき、メニューの選択の確認に使います。

**o** スキップボタン [I◀◀ / ▶▶I]
ラジオ受信中に、プリセットした放送局の選択に使います。
CDモード、USB/iPodモードでは、前または後ろの曲にスキップします。

**サーチボタン**

CDモード、USB/iPodモードで、再生中に押し続けると早送り/早戻しができます。

**p** 録音ボタン [RECORD]
ラジオや外部入力機器から、USBストレージ機器に録音をするときに使います。

**q** ディマーボタン [DIMMER]
ディスプレーの明るさを調節します。

**r** スリープボタン [SLEEP]
スリープタイマーを設定するときに使います。

**s** 情報表示ボタン [INFO/RDS]
インターネットラジオでディスプレーに表示される情報を切り換えます。
(RDSには本機は対応していません)

**t** ディスプレーボタン [DISPLAY]
CDモード、USB/iPodモードで、ディスプレーに表示される情報を切り換えます。

**u** 消去ボタン [CLEAR]
CDモード、またはUSB/iPodモードのプログラムモードで、プログラムした曲を消去するのに使います。また、接続したUSB機器のファイルを消去するのに使います。

**v** 音量ボタン [VOLUME]
音量を調節します。+を押すと大きくなり、−を押すと小さくなります。

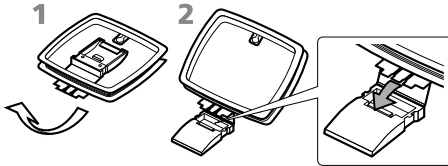
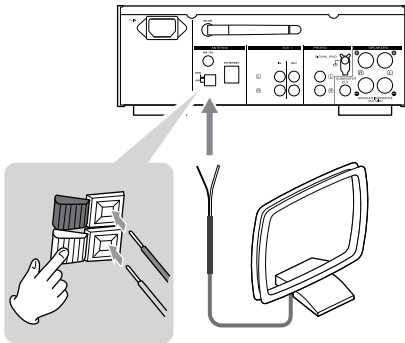
**w** スクロールボタン [▲/▼]
ラジオ受信中に、選局に使用します。
USB/iPodモードでは、接続したUSB機器のファイルやフォルダを選択するのに使います。iPodを接続した時は、iPodのメニューのスクロールに使います。
また、また各種設定のとき、メニューのスクロールに使います。

本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

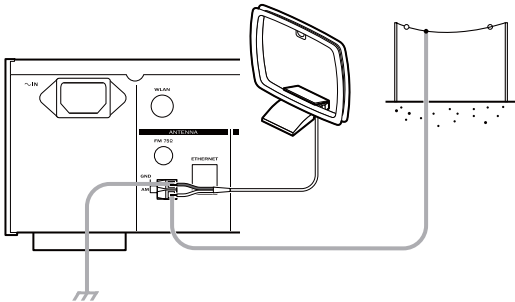
# アンテナの接続

## AMアンテナ

### AM室内アンテナ

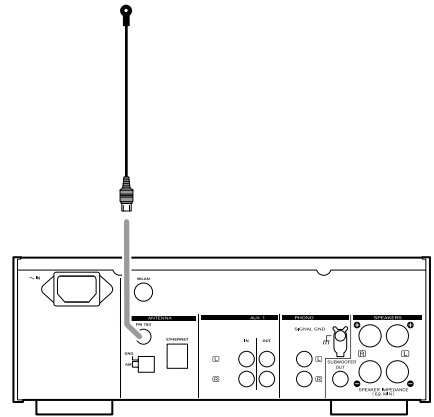
付属のAMループアンテナを組み立て、リアパネルのAMアンテナ端子に接続します。

アンテナコードは黒い方をGNDに、白い方をもう片方の端子に接続してください。

AM放送の受信中にこのアンテナを回して、受信状態が一番良い向きに置いてください。
また、アンテナコードはできるだけ電源コードやスピーカーコードなどと離してください。

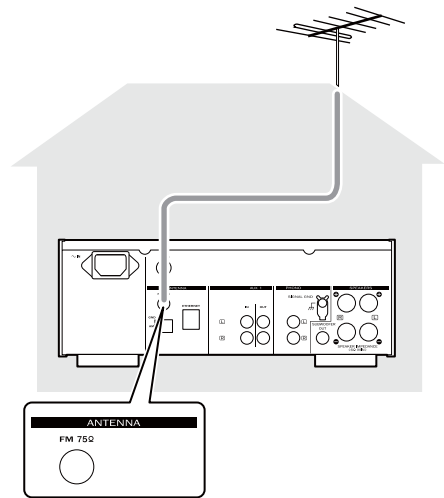
### AM屋外アンテナ

AM電波の弱い地域では、6 ～ 15mのビニール線を窓際か屋外に水平に張り、AM端子のGNDでない側に接続してください。

- 屋外アンテナを使用するときは、必ずGND端子をアースにつないでください。
- 屋外アンテナと接続する場合でも、付属のAMループアンテナは接続したままにしてください。

## FMアンテナ

### FM室内アンテナ

付属のFM室内アンテナをFM 75Ωジャックに差し込み、アンテナを伸ばします。受信状態が最もよくなる位置の窓枠や壁などにアンテナを固定してください。

### FM屋外アンテナ

FM電波の弱い地域では3素子の屋外アンテナを使用し、75Ω同軸ケーブルで接続してください。
特に電波の弱い地域では、5素子以上のアンテナを使用してください。

- 屋外アンテナを接続するときは、FM室内アンテナを外してから接続してください。

# スピーカーの接続

## ⚠ 接続時の注意

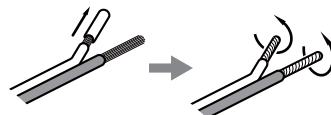
- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。

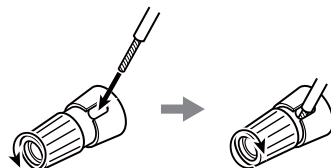
### A スピーカー端子 [SPEAKERS]

市販のスピーカー専用ケーブルを使って、本機とスピーカーを接続してください。
本機の赤い端子(R：右スピーカー)・白い端子(L：左スピーカー)が⊕、黒い端子が⊖になります。スピーカーケーブルのマークされている側を本機の⊕端子に、もう片方のケーブルを⊖端子に接続してください。

- スピーカーは公称インピーダンスが6Ω以上のものをお使いください。

#### 接続の準備

1 スピーカー専用ケーブル被覆を約1cmむく。
2 芯線をよる。

#### 接続のしかた

1 接続端子のつまみを左に回してゆるめる。
2 芯線を切り欠き部に挿入し、つまみを右に回してしっかり締め付ける。

⚠ 注意

**スピーカーケーブルの先端の芯線が露出している部分が、他のケーブルや端子に接触するとショートすることがあります。スピーカーケーブルは絶対にショートさせないでください。**

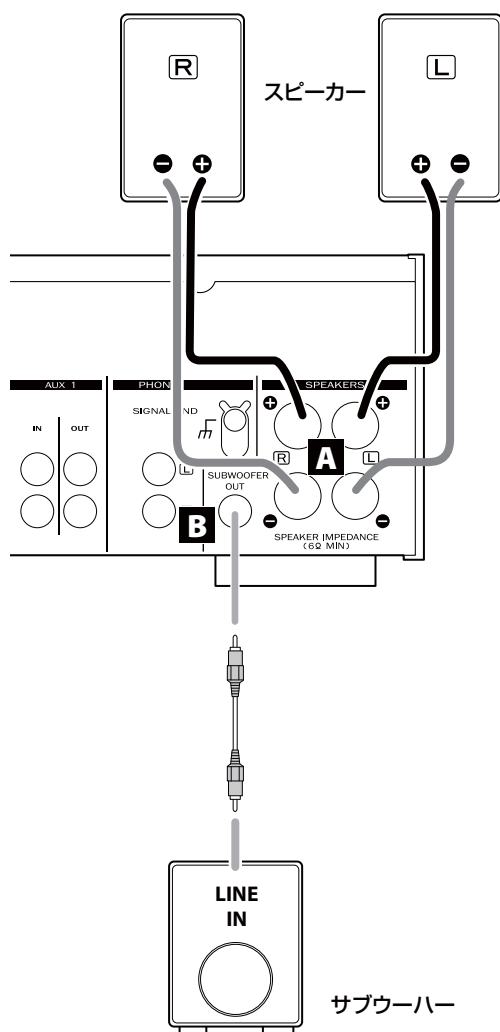
#### バナナプラグでの接続

市販のバナナプラグを使用して接続することもできます。スピーカーケーブルをバナナプラグに接続してから、プラグをターミナルに差し込みます。

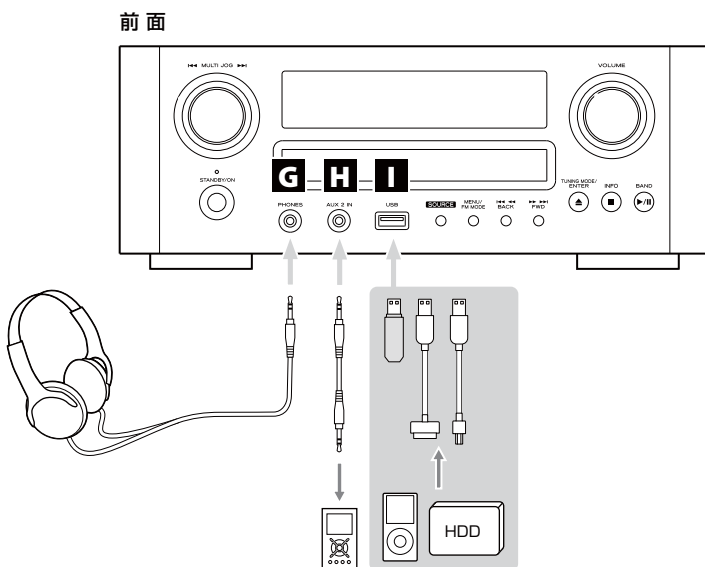
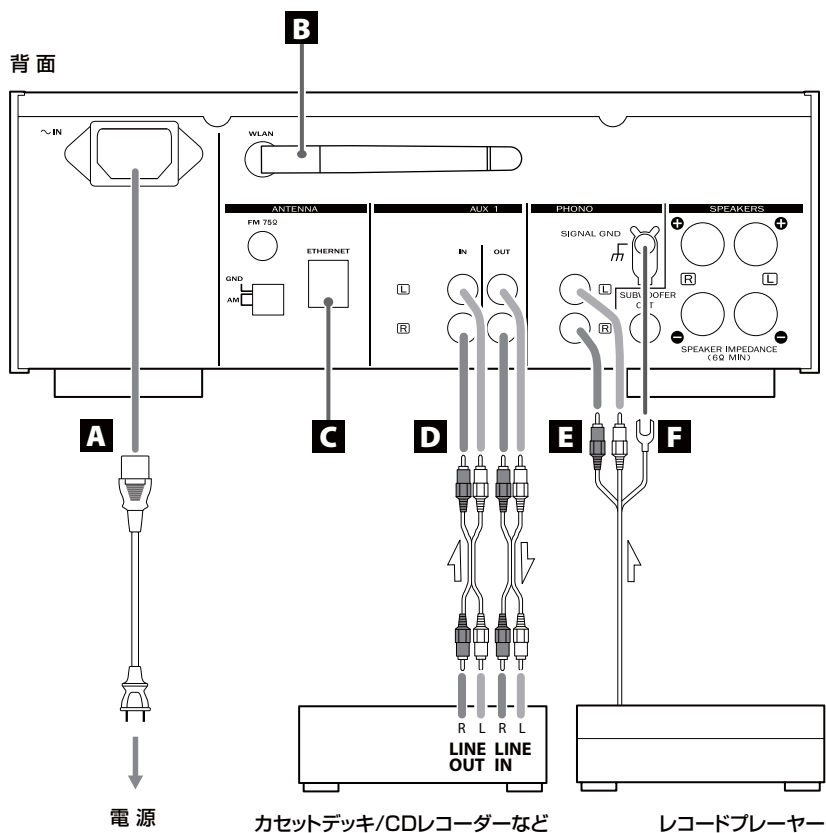
- つまみを回して締めた状態でご使用ください。
- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。

### B サブウーハー端子 [SUBWOOFER OUT]

小型のスピーカーを使用している場合は、サブウーハーを接続して低音を補強することができます。市販のオーディオケーブルを使って、サブウーハーと接続してください。

- サブウーハーは、市販のアンプ内蔵のパワード・サブウーハーをお使いください。メインスピーカーとのバランスを取るために、聴き慣れたソースを再生しながら、サブウーハーの音量を調節します。曲によっては、お好みで調節してください。

# 接　続

## ⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。

### A 電源インレット

全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ 注意

**交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。**

### B ワイヤレスLANアンテナ [WLAN]

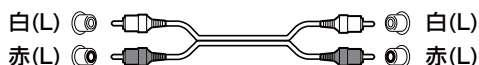
本機の設置場所でワイヤレスLANが使用できるときは、このアンテナで接続します。アンテナを回して上に立ててください。

### C ETHERNETポート [ETHERNET]

有線LANインターネット接続をするときは、市販のETHERNETケーブルを使って、このポートに接続してください。

### D アナログ音声入出力端子 [AUX 1]

アナログの音声が入出力されます。
市販のオーディオケーブルを使って、各機器と本機の入出力端子を接続してください。

オーディオケーブルは白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。

- カセットデッキやCDレコーダーなどの録音機器と接続して使うときは、録音機器の出力端子を本機のAUX 1 INの端子に、録音機器の入力端子を本機のAUX 1 OUTの端子に接続してください。

- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

### E PHONO端子 [PHONO]

市販のオーディオケーブルを使って、レコードプレーヤーを接続してください。

オーディオケーブルは白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。

- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

- MM(ムービングマグネット)カートリッジが使えます。

### F レコードプレーヤー用GND端子 [SIGNAL GND]

レコードプレーヤーのアースを接続してください。

- 本機の安全アースではありません。

- レコードプレーヤーのアースを接続しない場合、ノイズが発生することがあります。

### G ヘッドフォン端子 [PHONES]

ヘッドホンをお使いになるときは、まず音量を最小にしてからヘッドホンプラグを接続し、徐々に音量を調節してください。ヘッドホン端子の使用中は、スピーカーからは音が出ません。

⚠ 注意

**ヘッドホンを耳にかけたまま、電源のオン/オフ、またはヘッドホン端子の抜き差しを行わないでください。ヘッドホンから大きな音が発生することがあります。**

### H 音声入力端子 [AUX 2 IN]

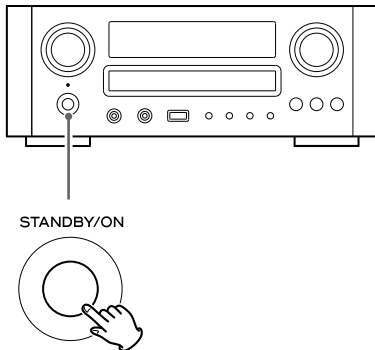
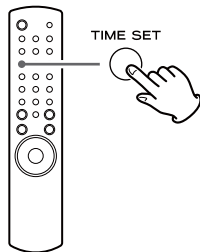
市販のステレオミニプラグケーブルを使って、携帯型オーディオプレーヤーなどのヘッドホン端子(または音声出力端子)と接続して、本機で音声を再生します。

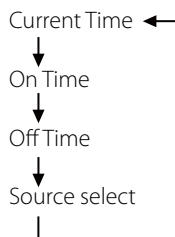
### I USBポート [USB]

市販のUSBケーブルを使って、iPodやUSBメモリーに接続します。

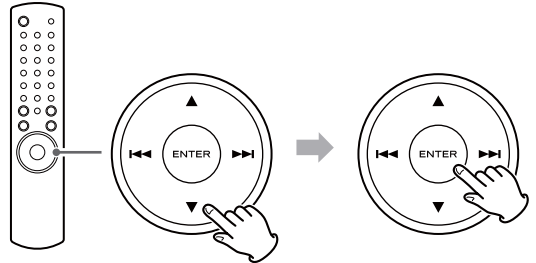
# 現在時刻の設定

お使いになる前に、現在時刻の設定をしてください。

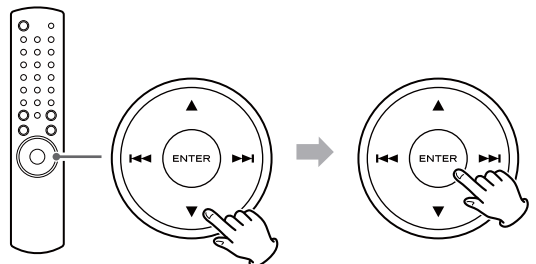
## 1 電源ボタン[STANDBY/ON]を押して電源をオンにする。

## 2 時刻設定ボタン[TIME SET]を押す。

「Current Time (現在時刻)」と表示され、「時」表示が点滅します。

- このときに時刻設定ボタン[TIME SET]を繰り返し押すと、以下のようにメニューが切り換わります。「Current Time」以外のメニューは、目覚タイマー、録音タイマーの設定に使います。(45ページ)

- 現在時刻の設定をやめるには、停止ボタン[■]を押します。

- 1分以上放置すると、時刻設定モードは解除されます。

## 3 スクロールボタン[▲/▼]を押して、時を合わせ、エンターボタン[ENTER]を押す。

「分」表示が点滅します。

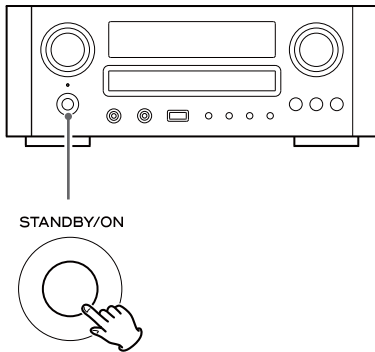
- 本体のスクロールつまみ[MULTI JOG]とエンターボタン[ENTER]も同じように使えます。

## 4 スクロールボタン[▲/▼]を押して、分を合わせ、エンターボタン[ENTER]を押す。

時刻合わせが終了し、合わせた分の0秒からスタートします。

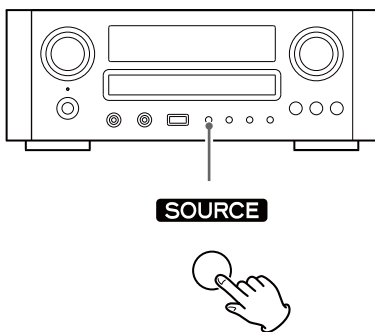
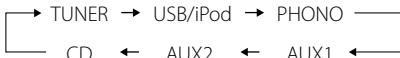
- 電源コードをコンセントから抜くと、設定した時刻の記憶は消去されます。

# 基本操作

ここでは、どのモードでも共通の操作を説明します。

## 1 電源ボタン[STANDBY/ON]を押して電源をオンにする。

電源ボタンの上のインジケーターが青く点灯します。

- 最後に選択されていたソースのモードで電源がオンになります。

## 2 入力切換ボタン[SOURCE]を押して、モードを選ぶ。

入力切換ボタン[SOURCE]を押すたびに、以下のようにモードが切り替わります。

リモコンのそれぞれの入力切替ボタンも使えます。

[TUNER] ...... チューナーモード
(繰り返し押すと、AM/FM/インターネットラジオが切り替わります)

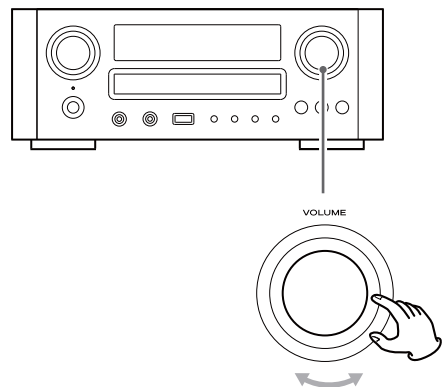
[CD].......... CDモード

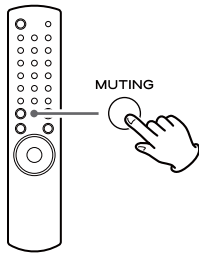
[iPod/USB] .... iPod/USBモード

[AUX 1/2] .... 外部入力(AUX)モード
(繰り返し押すと、AUX 1とAUX 2が切り替わります)

[PHONO]...... レコードプレーヤーモード

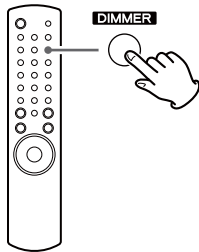
- インターネットラジオを聴くには、チューナーモードにしたあとにバンドボタン[BAND]で「Internet radio(インターネットラジオ)」を選ぶか、またはリモコンのチューナーボタン[TUNER]を繰り返し押して「Internet radio」を選んでください。

## 3 ソースを再生し、音量つまみ[VOLUME]を回して音量を調節する。

右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

- 突然大きな音が出るのを防ぐため、音量は徐々に大きくしてください。

## 一時的に音を消すには

消音ボタン[MUTING]を押すと一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

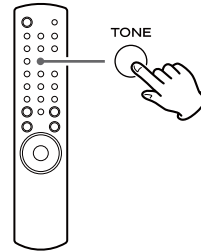
● 消音中に音量を変更したり、モードを切り換えたりすると、消音は解除されます。

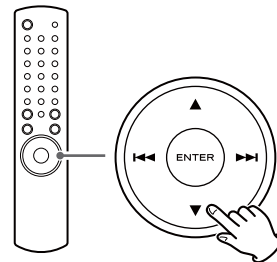
## ディマー

ディマーボタン[DIMMER]を押すと、ディスプレーの明るさを切り換えられます。

● 電源ボタン[STANDBY/ON]を押すと、この設定は解除されます。

## 音質を調節するには

お聴きの曲のジャンルやお好みに合わせて、低音域と高音域を調節することができます。

### 1 トーンボタン[TONE]を押してBASS(低音域)、またはTREBLE(高音域)を選ぶ。

トーンボタン[TONE]を押すたびに、BASSとTREBLEが切り替わります。

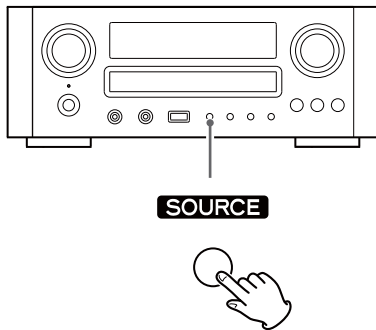
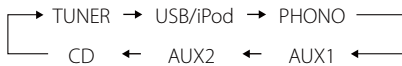
### 2 5秒以内にスクロールボタン[ ▲/▼ ]を押して、調節する。

それぞれ「-10」から「+10」まで調整できます。

● 本体のスクロールつまみ[MULTI JOG]も同じように使えます。

# 接続した機器の音を聴くには

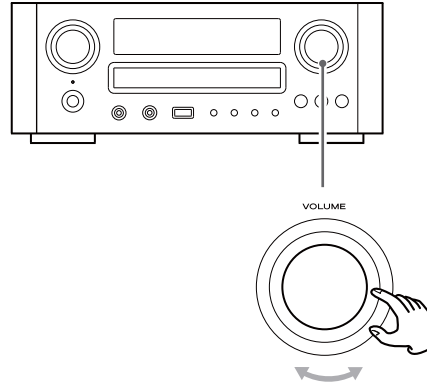
カセットデッキ、CDレコーダー、レコードプレーヤー、または携帯型オーディオプレーヤーを本機のアナログ音声入出力端子 [AUX 1]、PHONO端子 [PHONO]、または音声入力端子 [AUX 2 IN]に接続して聴くことができます。

**1** 本機と外部機器を接続する。(16ページ)

**2** 入力切換ボタン[SOURCE]を押して、聴きたいモードを選ぶ。

入力切換ボタン[SOURCE]を押すたびに、以下のようにモードが切り替わります。

リモコンのそれぞれの入力切替ボタンも使えます。

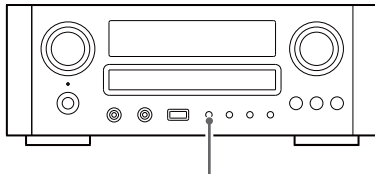
[AUX 1/2] . . . . 外部入力(AUX)モード
(繰り返し押すと、AUX 1とAUX 2が切り替わります)

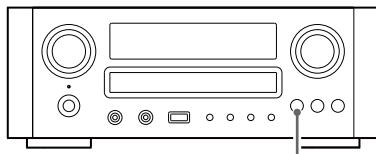
[PHONO] . . . . . . レコードプレーヤーモード

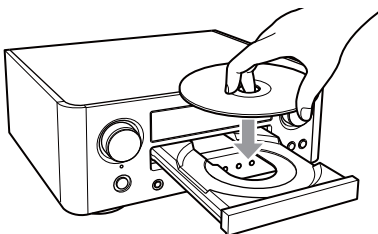
**3** 接続した機器で再生を始めて、音量つまみ[VOLUME]を回して音量を調節する。

右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

- 突然大きな音が出るのを防ぐため、音量は徐々に大きくしてください。
- 携帯型オーディオプレーヤーのヘッドホン端子と接続した場合は、プレーヤー側の音量を調節しないと、本機から音が聴こえないこがあります。
- 接続した機器の音量を上げすぎると、音が歪むことがあります。その場合は、まず接続した機器の音量を歪みが無くなるまで小さくしてから、本機の音量を調節してください。

# ディスクを聴くには

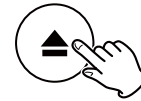
## 1 入力切換ボタン[SOURCE]を押して、CDモードを選ぶ。

リモコンのCDボタン[CD]も使えます。

## 2 開閉ボタン[▲]を押す。

● CDモードになっていないと、トレーは開きません。

## 3 ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせる。

● トレーには2枚以上ディスクをのせないでください。

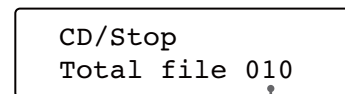
● ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがあります。ディスクは必ずトレーの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

● トレーの開閉動作中は、手で無理やり開け閉めしないでください。

## 4 開閉ボタン[▲]を押して、トレーを閉める。

**⚠ 注意**
**指をはさまないよう、ご注意ください。**

「Disc Reading」と表示され、ディスクの読み込みを開始します。
読み込みが終了すると以下のように表示されます。

**CDの場合**

**MP3/WMAディスクの場合**

● ディスクの読み込みには数秒かかります。ディスクの読み込み中は、ボタンを押しても機能しません。ディスプレーに総曲数と総再生時間が表示されるまでお待ちください。

● ディスクがセットされていないときは、「No disc」と表示されます。

**5** **再生/一時停止ボタン[►/❚❚]を押して再生を始める。**

1曲目から再生が始まります。
再生中は、以下のように表示されます。

**CDの場合**

**MP3/WMAディスクの場合**

MP3/WMAの再生中は､｢曲名｣｢アーティスト名｣｢アルバム名｣がスクロール表示されます。

- フォルダに入っていないMP3/WMAファイルは、自動的に｢ROOT｣フォルダに入れられます。再生はROOTフォルダの1曲目から始まります。
- MP3/WMAディスクの再生順については25ページをご覧ください。

- 最後の曲の再生が終わると停止します。
- ディスクをのせたあと、開閉ボタン[▲]を押さずに(トレーを閉めずに)再生/一時停止ボタン[►/❚❚]またはシャッフルボタン[SHUFFLE]を押すと、自動的にトレーが閉じてディスクの再生が始まります。

# USBメモリーを聴くには

本機はUSBフラッシュメモリーを始め、MP3プレーヤーやHDDなど、さまざまなUSBストレージデバイスに保存されたMP3/WMAファイルを再生することができます。

**1** **入力切換ボタン[SOURCE]を押して、iPod/USBモードを選ぶ。**

リモコンのiPod/USBボタン[iPod/USB]も使えます。

- USBメモリーが接続されていない場合は、｢Not connected｣と表示されます。

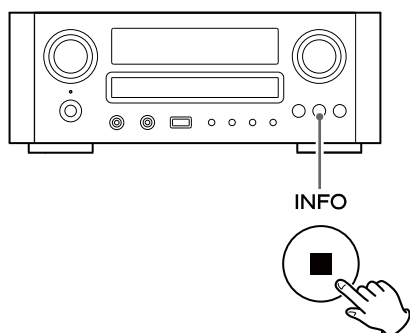
**2** **USBメモリーを接続する。**

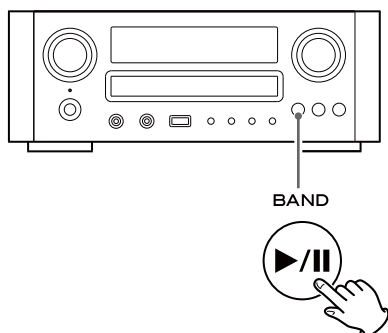
- HDDを接続した場合は、情報の読み込みに時間がかかることがあります。

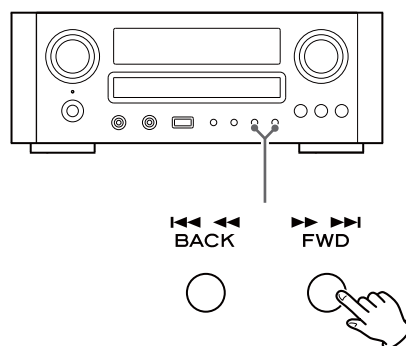
**3** **再生/一時停止ボタン[►/❚❚]を押して再生を始める。**

USB
ディスク

# ディスクとUSBの操作

## 再生をやめるには

停止ボタン [■]を押すと再生が停止します。
再生/一時停止ボタン[▶/❚❚]を押すと最初の曲から再び再生が始まります。

## 再生を一時停止するには

再生/一時停止ボタン[▶/❚❚]を押すと再生が一時停止します。
再び再生/一時停止ボタン[▶/❚❚]を押すと一時停止したところから再生が始まります。

## 聴きたい曲を探すには(スキップ)

再生中にスキップボタン[⏮/⏭]を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。
選択された曲の始めから再生を始めます。

停止中または一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で(一時)停止状態になります。再生/一時停止ボタン[▶/❚❚]を押すと再生が始まります。

- 再生中は、⏮を1回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、⏮を続けて押してください。

- プログラム再生中は、プログラムされた順番に前または後ろの曲にスキップします。

## 聴きたい部分を探すには(サーチ)

再生中にサーチボタン[ ◀◀/▶▶ ]を押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

● USBメモリーのサーチ中には、音は出ません。

● 最後の曲の終わりまでいくと、停止状態になります。

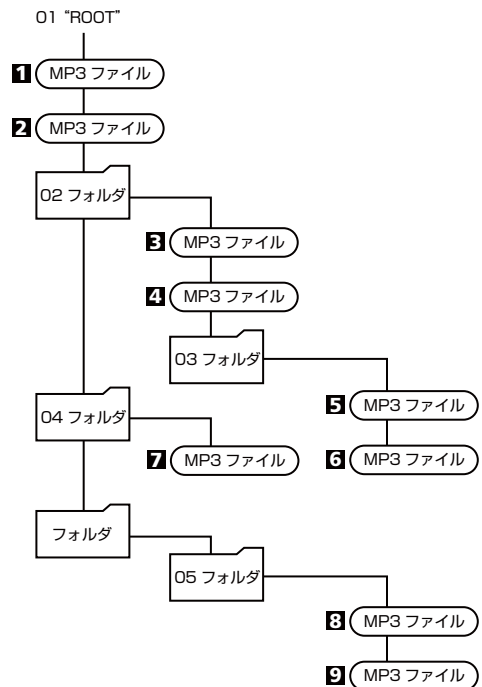
## ディスクを取り出すには

開閉ボタン[▲]を押すと、再生中の場合は再生が停止し、ディスクトレーが開きます。
ディスクを取り出したあと、再び開閉ボタン[▲]を押してトレーを閉めてください。

● CDモードになっていないと、トレーは開きません。

# MP3/WMAディスクの再生順

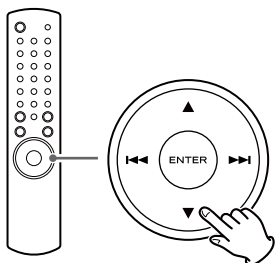
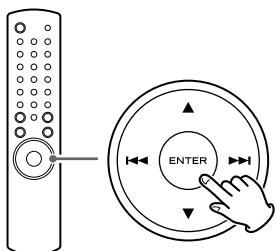
MP3/WMAファイルを収録したCDの中には、通常のパソコンのファイルの扱いと同じように、MP3/WMAファイルをフォルダに収納しているものがあります。さらに、いくつかのフォルダをまとめて1つのフォルダに収めているものもあります。

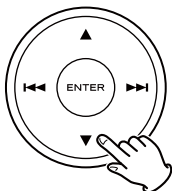
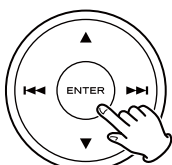
**本機でMP3/WMAディスクを再生するときのフォルダ番号とファイルの再生順(1～9)の例**

● USBメモリーの再生順は、書き込み条件により変わります。

USB ディスク

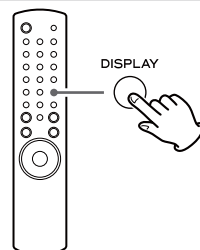
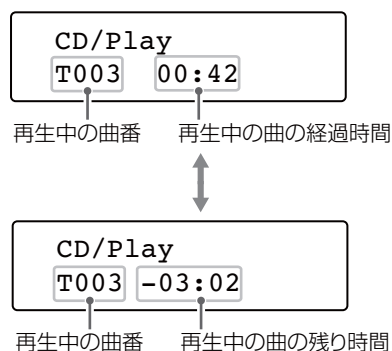
## フォルダ内の曲をサーチするには(MP3/WMA)

フォルダ内にある曲名をサーチして選択し、再生することができます。
**ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、本機で正しく表示されませんので、正確にサーチできません。**

**1** **スクロールボタン[▲/▼]を押して、聴きたい曲が入っているフォルダを選ぶ。**

**2** **エンターボタン[ENTER]を押す。**

● フォルダに入っていないMP3/WMAファイルは、自動的に「ROOT」フォルダに入れられます。

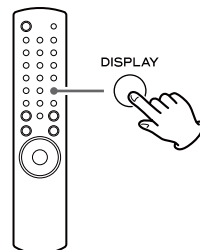
**3** **スクロールボタン[▲/▼]を押して、聴きたい曲を選ぶ。**

**4** **エンターボタン[ENTER]を押す。**

選択した曲の再生が始まります。

# ディスプレーの表示

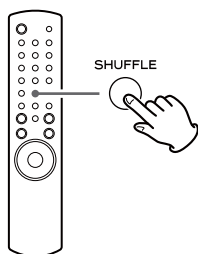
## オーディオCDの場合

再生中にディスプレーボタン[DISPLAY]を押すたびに、以下のようにディスプレーの表示が変わります。

## MP3/WMAファイルの場合

MP3/WMAファイルの再生中は以下の情報がスクロール表示されます。

曲名 ➡ アーティスト名 ➡ アルバム名

再生中にディスプレーボタン[DISPLAY]を繰り返し押すと、以下のように曲の情報を表示が変わります。

通常表示(スクロール表示)
➡ 再生中のファイル番号と経過時間
➡ ファイル名 ➡ 曲名 ➡ アーティスト名
➡ アルバム名 ➡ 通常表示

● 本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

# シャッフル再生

シャッフルボタン[SHUFFLE]を押すと、シャッフル再生モードになり、ディスク/USBメモリーの全曲がランダムに再生されます。

**ディスクの場合**

```
CD/Random
T003  00:07
```

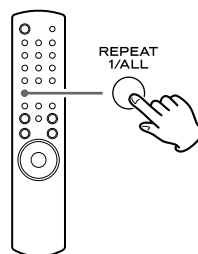
**USBメモリーの場合**

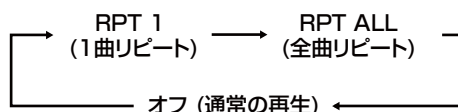
```
USB/Random
T0003 00:07 WMA
```

- シャッフル再生中に ►►I ボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されます。I◄◄ ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。
  シャッフル再生中は、再生が終わった曲には戻れません。

- シャッフルボタン[SHUFFLE]を押すとシャッフル再生モードは解除されます。

- 停止ボタン[■]を押すとシャッフル再生は停止します。

# リピート再生

リピート 1/ALLボタン[REPEAT 1/ALL]を押すたびに、以下のようにリピートのモードが変わります。

**オーディオCDの場合**

**MP3/WMAファイルの場合**

- 停止ボタン[■]を押すとシャッフル再生モードは解除されます。

---

**1曲リピート [RPT 1]**
再生中の曲をくり返し再生します。

- 1曲リピート再生中にスキップボタン[I◄◄/►►I]を使って他の曲を選んだ場合は、その曲をくり返し再生します。

- 停止中は、リピート 1/ALLボタン[REPEAT 1/ALL]を押してからスキップボタン[I◄◄/►►I]で曲を選び、再生/一時停止ボタン[►/II]を押すと、1曲リピート再生を始めます。

---

**フォルダリピート [RPT Folder] (MP3ディスクのみ)**
再生中のフォルダの全曲をくり返し再生します。

- フォルダ再生中にスキップボタン[I◄◄/►►I]を使って他の曲を選んだ場合は、その曲をくり返し再生します。

- 停止中はフォルダリピートできません。

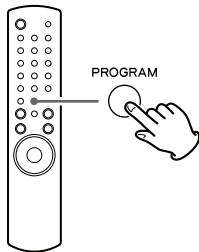
---

**全曲リピート [RPT ALL]**
全曲をくり返し再生します。

- プログラム再生中は、プログラムした曲をくり返し再生します。

# プログラム再生

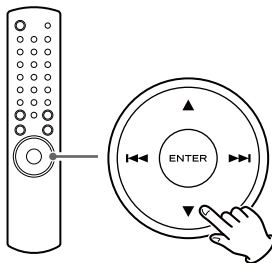
ディスクの中から、再生したい順番に32曲までプログラムすることができます。

## 1 停止中にプログラムボタン[PROGRAM]を押す。

**ディスクの場合**

```
P-00 T000
T016  72:00
```

**USBメモリーの場合**

```
P00 T0000
Total File 0130
```

## 2 スクロールボタン[▲/▼]を押して、プログラムしたい曲を選ぶ。

**ディスクの場合**

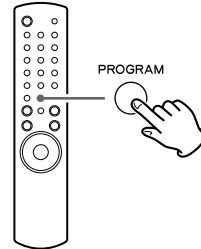
プログラム番号　曲番

```
P-01 T002
T016  72:00
```

**USBメモリーの場合**

プログラム番号　ファイル番号

```
P01 T0012
Total File 0130
```

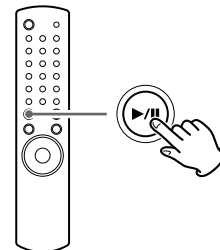
## 3 5秒以内に、プログラムボタン[PROGRAM]を押す。

選択した曲番またはファイルがプログラムされます。

**複数の曲をプログラムするとき**

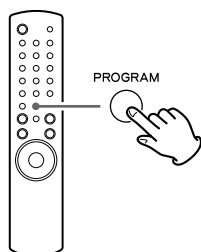
スクロールボタン[▲/▼]を押すと「P-02」が表示されます。

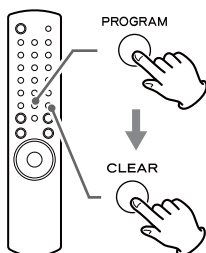
2〜3の手順を繰り返してください。

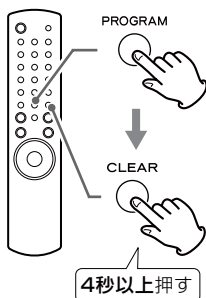
- 消去ボタン[CLEAR]を押すと、最後のプログラムが消去されます。
- 32曲までプログラムできます。32曲以上プログラムしようとすると「P-FULL」と表示され、それ以上プログラムできません。

## 4 プログラムが終わったら、再生/一時停止ボタン[►/II]を押す。

プログラム再生が始まります。

- 全ての曲の再生が終わると、プログラムモードは解除されます。または、停止ボタン[■]、電源ボタン[STANDBY/ON]を押しても、プログラムモードは解除されます。
- 開閉ボタン[⏏]を押してディスクトレーを開けると、プログラムの内容は消去されます。

## プログラムの内容をチェックするには

停止中にプログラムボタン[PROGRAM]を押すたびに、プログラム番号とプログラムした曲番が順番に表示されます。

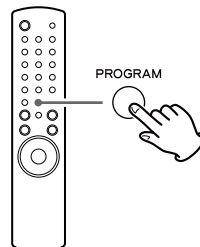
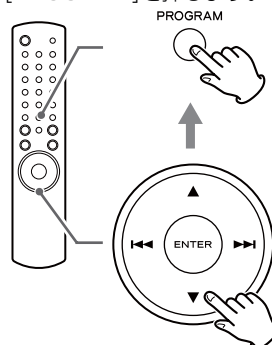
## プログラムの一部を消去するには

停止中に、**削除したい曲番が表示されるまで**プログラムボタン[PROGRAM]を繰り返し押してから、消去ボタン[CLEAR]を押してください。選択した曲番がプログラムから消去されます。

## 全てのプログラム内容を消去するには

停止中に、プログラムボタン[PROGRAM]を押してから、消去ボタン[CLEAR]を4秒以上押してください。全てのプログラム内容が消去されます。

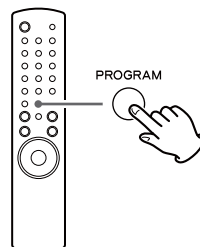
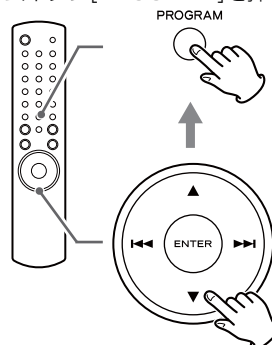
● 以下の場合にも、全てのプログラム内容が消去されます。

電源ボタン[STANDBY/ON]を押してスタンバイ(オフ)状態にした場合
開閉ボタン[▲]を押してディスクトレーを開けた場合
電源コードをコンセントから抜いた場合

## プログラムの最後に曲を追加するには

停止中に、**「P-END」が表示されるまで**プログラムボタン[PROGRAM]を繰り返し押します。

スクロールボタン[▲/▼]で追加したい曲番を選び、プログラムボタン[PROGRAM]を押します。

選択した曲番がプログラムの最後に追加されます。

## プログラムの一部を書き換えるには

停止中に、**書き換えたい曲番が表示されるまで**プログラムボタン[PROGRAM]を繰り返し押します。

スクロールボタン[▲/▼]で新しく上書きしたい曲番を選び、プログラムボタン[PROGRAM]を押します。

選択した曲番に書き換えられます。

# USBメモリーに録音するには

## 録音の前に

本機では、CDやラジオ、接続した外部入力機器(レコード、カセットテープなど)の音声をMP3形式にして、USBメモリーに録音することができます。

● iPodからの録音はできません。

### 録音するときのご注意

● 録音中にUSBメモリーを取り外したり電源コードを抜かないでください。故障の原因となります。

● 適切な音量で録音するために、録音するソースの音量をあらかじめ調節してください。

● 本機でUSBメモリーの容量を確認することはできません。録音の前に、あらかじめUSBメモリーの容量をパソコンで確認してください。

● 録音中には消音ボタン[MUTING]を押しても、消音することができません。

### 録音されるファイルについて

● 録音されたファイルは「AUDIO」フォルダに記録されます。

● 本機では、ビットレートが128kbpsのMP3に変換してUSBメモリーに録音します。

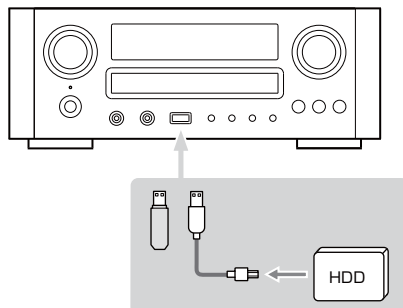
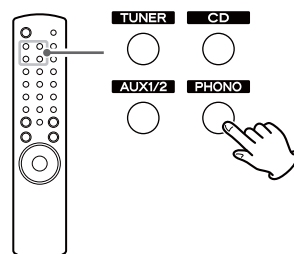
● ファイル名は、「AUDIO001.MP3」、「AUDIO002.MP3」のような順序で自動的に記録されます。

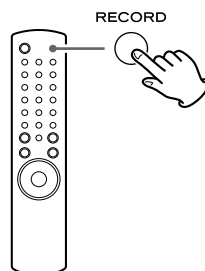
**例：**
すでに「AUDIO」フォルダに「AUDIO004.MP3」と「AUDIO009.MP3」が記録されている場合、次に録音したときに記録されるファイル名は「AUDIO010.MP3」となります。

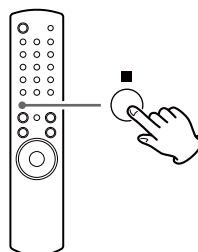
● 本機では2000ファイルまで記録することができます。

● 1つのファイルの録音時間は最長90分までです。90分を超えた場合は、新しいファイルが作成されます。新しいファイルの作成には数分かかります。

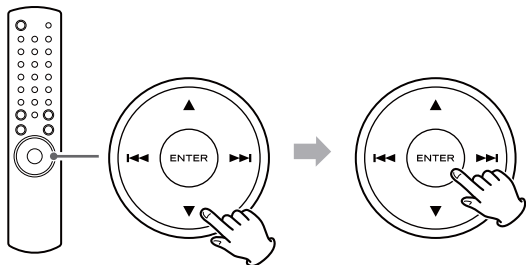
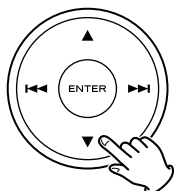
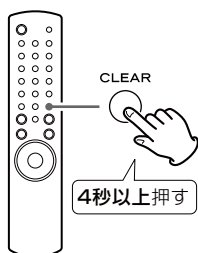
## 録音するには

**1** USBメモリーを接続する。

**2** 録音するソースを選択する。

● iPodからの録音はできませんので、iPod/USBモードは選べません。

**3** 録音ボタン[RECORD]を押して、録音を開始する。

● USBメモリーの空き容量がない場合や、USBメモリーがロックされている場合は録音できません。

**4** 停止ボタン[■]を押して、録音を停止する。

## USBメモリーからファイルを消去するには

接続したUSBメモリーのファイルを消去することができます。

**1** 停止中にスクロールボタン[▲/▼]を押して、消したいファイルが含まれているフォルダを選び、エンターボタン[ENTER]を押す。

**2** スクロールボタン[▲/▼]を押して、消したいファイルを選ぶ。

**3** 消去ボタン[CLEAR]を4秒以上押す。

ディスプレーに「Delete?」が表示されます。

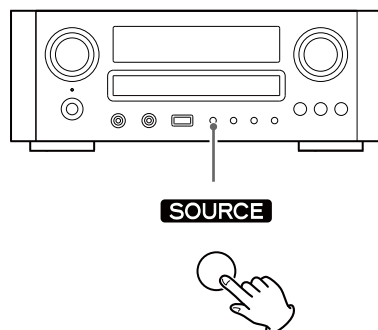
**4** 3秒以内に消去ボタン[CLEAR]を押す。

USBメモリーから選択したファイルが消去されます。

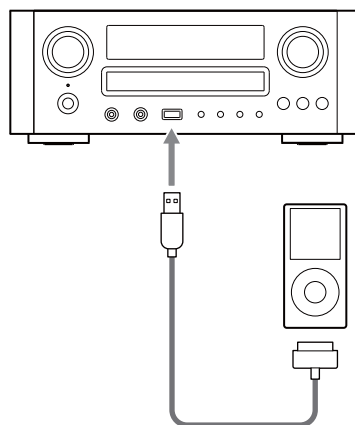
- 3秒以内に消去ボタン[CLEAR]ボタンが押されないと、消去の操作はキャンセルされます

## iPodを聴くには

7ページの「iPodについて」をお読みください。

**1** 入力切換ボタン[SOURCE]を押して、iPod/USBモードを選ぶ。

リモコンのiPod/USBボタン[iPod/USB]も使えます。

- iPodが接続されていない場合は、「Not connected」と表示されます。

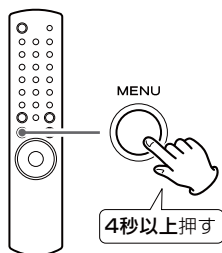
**2** 本機とiPodを、iPodに付属のUSBケーブルで接続する。

iPodの電源が自動的にオンになり、iPodのプレイリストにしたがって再生が始まります。

- iPod/USBモード以外のモードになっているときは、iPodは電源が自動的にオンになり、ポーズ(一時停止)状態になります。
- 本機にiPodを接続すると、本機の電源プラグがコンセントに接続されている間は常にiPodを充電します。フル充電すると充電を停止します。
- iPodにヘッドホンが差し込まれている場合、iPodのヘッドホンからは音が出ません。本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続してお聴きください。

次のページに続きます

# iPodを聴くには(続き)

## 表示モードを切り換えるには

本機とiPodの、どちらのディスプレーでメニューを表示するかを切り換えることができます。

MENUボタン[MENU]を4秒以上押し続けると、表示モードが切り換わります。

**ダイレクトモード(出荷時設定)**
iPodのディスプレーを使用したいときに選びます。
iPodのディスプレーにはメニューが表示されます。
本機のディスプレーには「Direct Mode」が常時表示されます。

● 本機が対応しているiPodのうち、以下のものでは、ダイレクトモードは選択できません。(自動的に拡張モードに切り替わります)

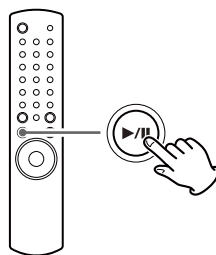
iPod (第5世代)
iPod nano (第1世代、第2世代)

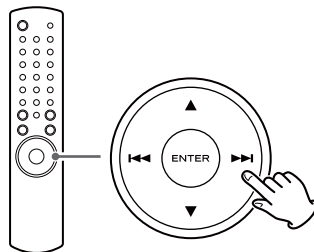
● 表示モードがダイレクトモードのときは、iPodのボタンでも操作ができます。ただし、音量の調節はiPodではできません。

**拡張モード**
本機のディスプレーを使用したいときに選びます。
ファイル情報が、本機のディスプレーに表示されます。

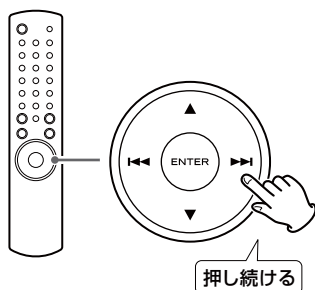
● 本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

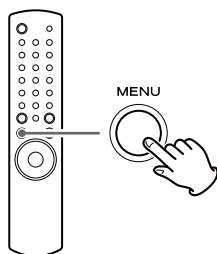
● 表示モードが拡張モードのときは、iPodのボタンで操作ができません。

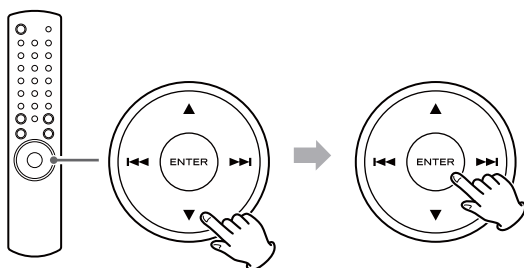
## 再生を一時停止するには

再生/一時停止ボタン[►/❚❚]を押すと再生が一時停止します。
一時停止中に再生/一時停止ボタン[►/❚❚]を押すと、再び再生を始めます。

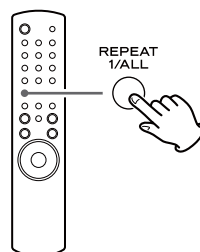
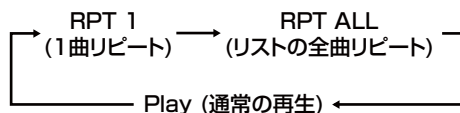
## 聴きたい曲を探すには

再生中または一時停止中にスキップボタン[⏮/⏭]を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。選択された曲の始めから再生を始めます。

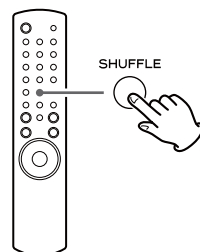
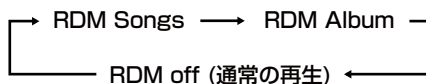
● 再生中は、⏮を1回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、⏮を続けて押してください。

## 聴きたい部分を探すには

再生中にサーチボタン[⏮/⏭]を押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

## 前のメニューに戻るには

メニューボタン[MENU]を押すと、ひとつ前のメニューを表示します。iPodのMENUボタンと同じ機能です。

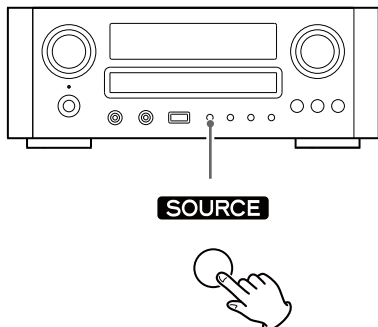
## メニュー項目を選ぶには

停止中にスクロールボタン[▲/▼]を押して、メニュー項目を選び、エンターボタン[ENTER]を押してください。

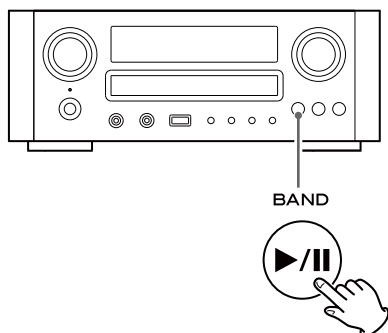
## リピート再生

リピート 1/ALLボタン[REPEAT 1/ALL]を押すたびに、以下のようにリピートのモードが変わります。

1曲リピートにしたときには、iPodのディスプレーに( ) が表示されます。
全曲リピートにしたときには、iPodのディスプレーに( )が表示されます。

## シャッフル再生

シャッフルボタン[SHUFFLE]を押を押すたびに、以下のようにシャッフルのモードが変わります。

「RDM Song」を選ぶと、選択したアルバムやプレイリストの曲をランダムに再生します。
「RDM Album」を選ぶと、アルバムをランダムに選んで再生します。アルバムの中身は、順序通り再生します。

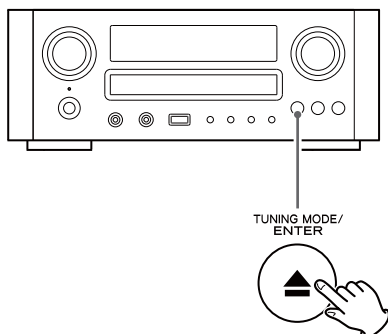
シャッフルをオンにしたときには、iPodのディスプレーに( )が表示されます。

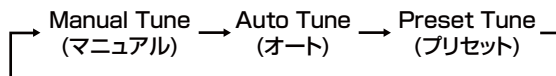
# AM/FMラジオを聴くには

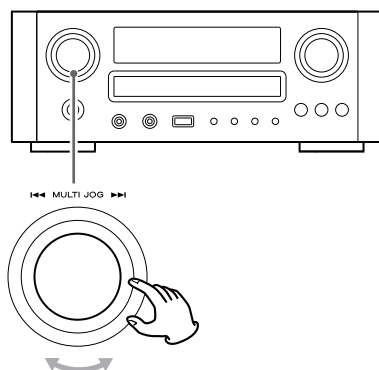
**1 入力切換ボタン[SOURCE]を押して、チューナーモードを選ぶ。**

● リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

**2 バンドボタン[BAND]を押してAMまたはFMを選ぶ。**

バンドボタン[BAND]を押すたびに、AM/FM/インターネットラジオが切り換わります。

● リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

**3 チューニングモードボタン[TUNING MODE]を押してチューニングモードを選ぶ。**

チューニングモードボタン[TUNING MODE]を押を押すたびに、以下のようにチューニングモードが変わります。

Manual Tune (マニュアル) → Auto Tune (オート) → Preset Tune (プリセット) →

● プリセットの方法は、次のページをご覧ください。

**4 選局つまみ[MULTI JOG]を回して聴きたい放送局を選ぶ。**

**マニュアル選局モード**

選局つまみ[MULTI JOG]を回して聴きたい放送局を選びます。
固定されたステップで周波数が変わります。(FM: 50 kHzステップ、AM: 9 kHzステップ)

● リモコンのスクロールボタン[▲/▼]も同じように使えます。

**オート選局モード**

選局つまみ[MULTI JOG]を回すと、選局が自動的に始まります。放送局を受信すると止まります。
聴きたい放送局を受信するまで繰り返してください。

エンターボタン[ENTER]を押すと、オート選曲は止まります。

**プリセット選局モード**

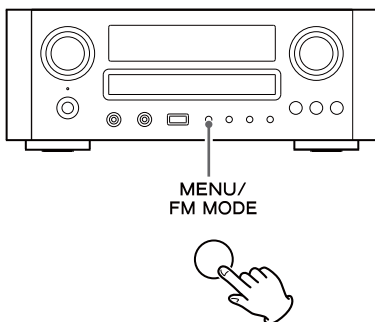
選局つまみ[MULTI JOG]を回してプリセットされた放送局を選びます。

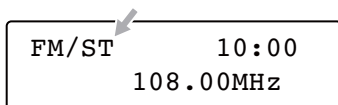
● リモコンのスキップボタン[⏮/⏭]も同じように使えます。

## 受信状態が悪いときは

受信状態が悪いときは、FMアンテナまたはAMアンテナの向きを変えたりして、最も良く受信できる位置を探してください。

## FMモード

FMモードボタン[FM MODE]を押すたびに、ステレオ受信とモノラル受信が切り換わります。

Stereo(ステレオ)

FMステレオ放送をステレオで受信します。
FMステレオ放送の受信中はディスプレーに「ST」が表示されます。

ステレオ受信できないときは、消音されます。

Mono(モノラル)

FM放送をモノラルで受信します。
ステレオ放送の受信状態が悪いときはこのモードを選んでください。音はモノラルになりますがノイズを減らすことができます。

- モノラルモードで受信中に、他の放送局に切り換えたり受信が途切れると、ステレオモードに切り換わります。

# AM/FM放送局のプリセット

よく聴く局を、FM30局、AM30局まであらかじめ登録(プリセット)しておくことができます。
プリセット方法には、オートプリセットとマニュアルプリセットがあります。

## オートプリセット

**1** チューナーボタン[TUNER]を押してAMまたはFMを選ぶ。

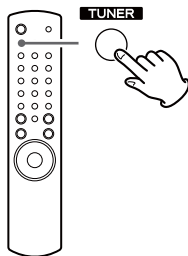
**2** プログラムボタン[PROGRAM]を3秒以上押す。

受信状態の良い放送局を、自動的に30曲までプリセットします。

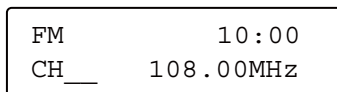
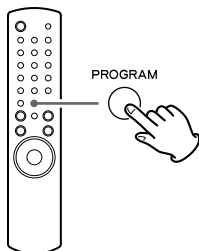
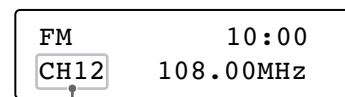
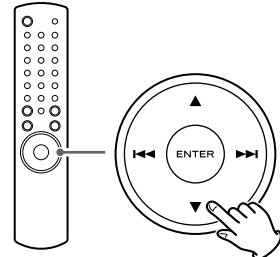
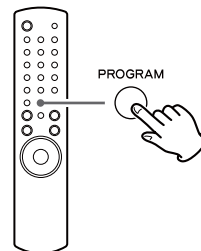
次のページに続きます

# AM/FM放送局のプリセット(続き)

## マニュアルプリセット

**1** チューナーボタン[TUNER]を押してAMまたはFMを選ぶ。

**2** プリセットしたい放送局を受信する。(34ページ)

**3** プログラムボタン[PROGRAM]を押す。

```
FM           10:00
CH__    108.00MHz
```

**4** 4秒以内にスクロールボタン[ ▲/▼ ]を押して、プリセット番号を選ぶ。

**5** 4秒以内に、プログラムボタン[PROGRAM]を押す。

受信中の放送局が、選択したプリセット番号に登録されます。
他の放送局をさらに登録するときは、**2**から**5**の手順を繰り返します。

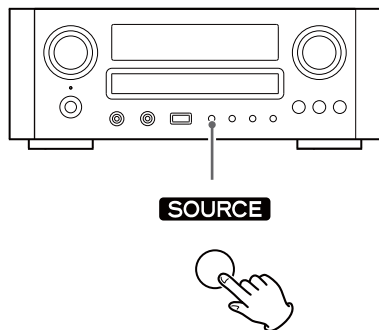
● 4秒以内に、プログラムボタン[PROGRAM]を押さないと、マニュアルプリセットモードは解除されます。

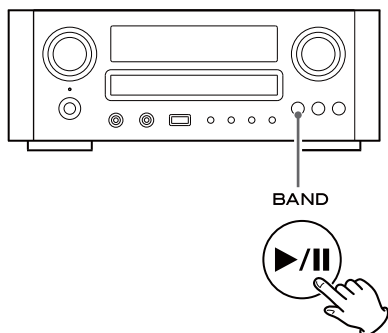
**登録した放送局を聴くには**

34ページの「プリセット選局モード」をご覧ください。

# インターネットラジオのセットアップ

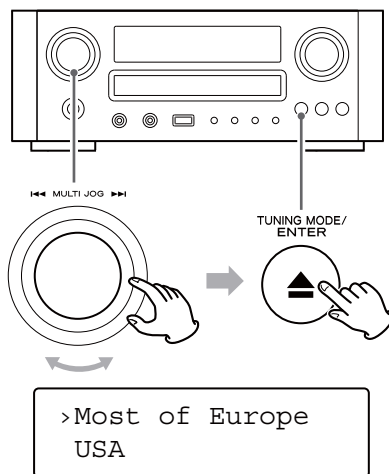
初めてインターネットラジオ/ポッドキャストを聴く前に、インターネット接続に必要なセットアップを行う必要があります。

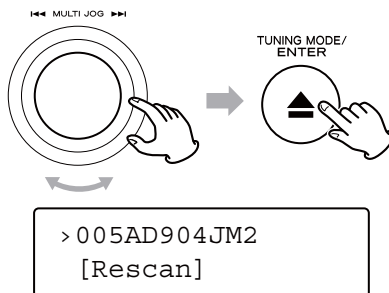
**1** 入力切換ボタン[SOURCE]を押して、チューナーモードを選ぶ。

● リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

**2** バンドボタン[BAND]を押してインターネットラジオ(Internet radio mode)を選ぶ。

バンドボタン[BAND]を押すたびに、AM/FM/インターネットラジオが切り換わります。

● リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

「Please select Wlan region (地域を選んでください)」と表示され、セットアップウィザードが開始します。

**3** スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して「Japan」を選び、エンターボタン[ENTER]を押す。

● 前の画面に戻るには、バックボタン[BACK]を押します。

**4** スクロールつまみ[MULTI JOG]を回してネットワーク名を選び、エンターボタン[ENTER]を押す。

● 有線LANに接続するには、「Wired (有線)」を選びます。

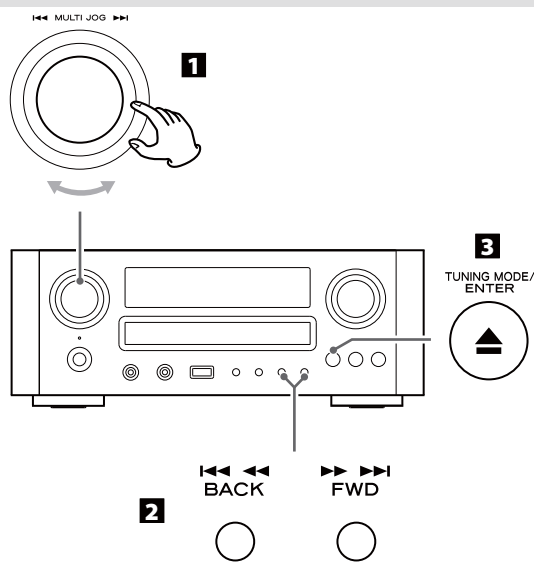
**5** パスワードの入力が必要な場合、次のページの「文字の入力方法」に従って入力します。

インターネット接続を開始します。
接続すると、インターネットラジオメニューが表示されます。

● インターネット接続ができないときは、48ページの「困ったときは」の「インターネットラジオ」をご覧ください。

「文字の入力方法」は次のページ

# インターネットラジオのセットアップ(続き)

## 文字の入力方法

**1** スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して、文字種を選択する。

**2** スキップボタン[⏮/⏭]を押して、入力したい文字を選ぶ。

**3** エンターボタン[ENTER]を押して、文字を確定する。

他の文字をさらに入力するときは、**1** から **3** の手順を繰り返します。

**4** 全ての文字を入力したら、カーソルを「E」に合わせてエンターボタン[ENTER]を押す。

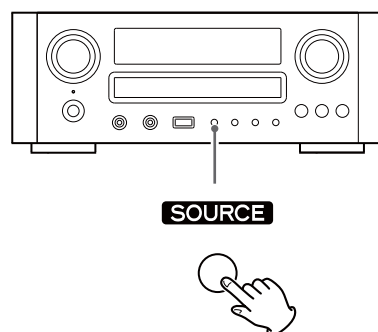
**入力できる文字**

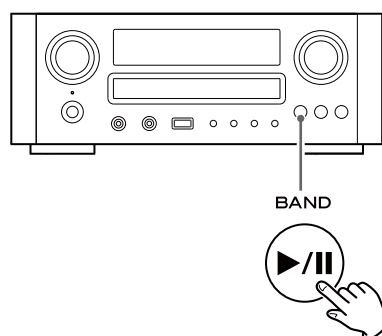
0123456789
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
(space)!”#¤%&’()*+,-./:;<=>?@[\]–_¦¦`{¦}¯

# インターネットラジオを聴くには

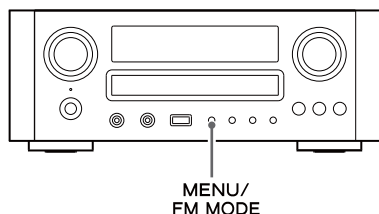
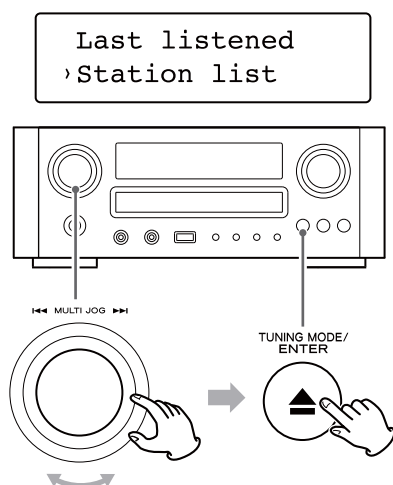
## インターネットラジオ/ポッドキャストを聴くには

初めてインターネットラジオ/ポッドキャストを聴く前に、インターネット接続に必要なセットアップを行ってください。(前のページ)

**1** 入力切換ボタン[SOURCE]を押して、チューナーモードを選ぶ。

● リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

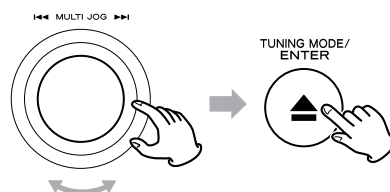
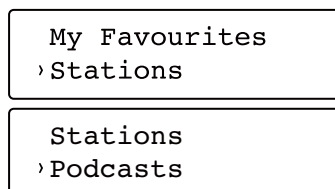
**2** バンドボタン[BAND]を押してインターネットラジオ(Internet radio mode)を選ぶ。

バンドボタン[BAND]を押すたびに、AM/FM/インターネットラジオが切り換わります。

● リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

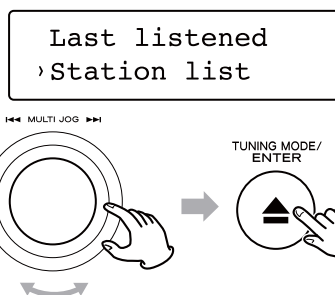
**3** メニューボタン[MENU]を押して、インターネットラジオメニューを開く。

**4** スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して「Station list」を選び、エンターボタン[ENTER]を押す。

● 前の画面に戻るには、バックボタン[BACK]を押します。

**5** スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して「Stations」(インターネットラジオ放送局)、または「Podcasts」(ポッドキャスト)を選び、エンターボタン[ENTER]を押す。

```
 My Favourites
›Stations
```

```
 Stations
›Podcasts
```

サーチ(選局)方法のリストが表示されます。

**6** スクロールつまみ[MULTI JOG]を回してサーチ方法を選び、エンターボタン[ENTER]を押す。

```
 Last listened
›Station list
```

**Location (ロケーション)**
放送局や配信者の地域でサーチします。

**Genre (ジャンル)**
放送局/ポッドキャストの内容のジャンルでサーチします。

**Search stations (放送局名)**
放送局の名前でサーチします。

**Search podcasts (ポッドキャスト名)**
ポッドキャストの名前でサーチします。

**Popular stations (人気の放送局)**
人気のある放送局のリストからサーチします。

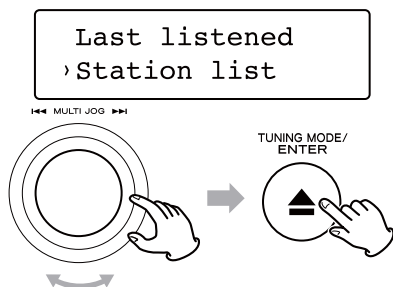
**New stations (新しい放送局)**
新規に追加された放送局のリストからサーチします。

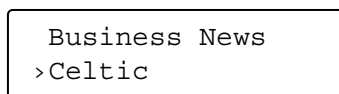


次のページに続きます

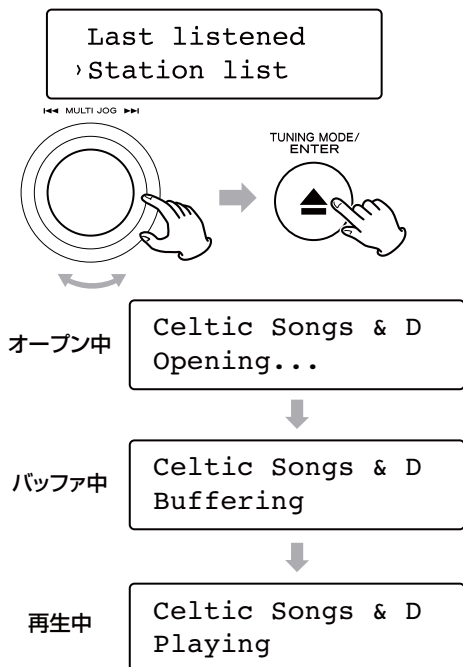
**7** **6** で、Location(ロケーション)、Genre(ジャンル)、Search stations(放送局名)を選んだ場合

**スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して項目を選び、エンターボタン[ENTER]を押す。**

```
 Last listened
›Station list
```

● 文字の入力方法は、38ページをご覧ください。

```
 Business News
›Celtic
```

放送局/ポッドキャストのリストが表示されます。

**8** **スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して聴きたい放送局/ポッドキャストを選び、エンターボタン[ENTER]を押す。**

```
 Last listened
›Station list
```

## その他のサーチ方法

インターネットラジオモードでメニューボタン[MENU]を押すと、インターネットラジオメニューが表示されます。このメニューの中には、以下のような便利な放送局/ポッドキャストのサーチ方法があります。

**Last listened (最近聴いた放送局/ポッドキャスト)**
最近聴いた放送局/ポッドキャストのリストからサーチします。

**Station list (放送局/ポッドキャストリスト)**

**My favourites (お気に入り)**
お気に入りに追加した放送局/ポッドキャストのリストからサーチします。(次のページの「再生中の放送局/ポッドキャストをお気に入りリストに追加するには」をご覧ください)
お気に入りリストは、インターネットラジオのポータルサイトでも作成できます。(42ページ)

**Stations (インターネットラジオ放送局)**
インターネットラジオの放送局のリストからサーチします。

**Podcasts (ポッドキャスト)**
ポッドキャストのリストからサーチします。

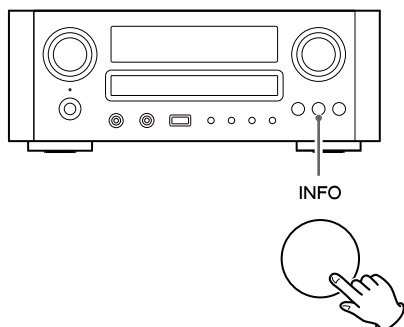
**My Added Stations (追加した放送局/ポッドキャスト)**
インターネットラジオのポータルサイトで追加したリストからサーチします。(42ページ)
Station list にはたくさんの放送局/ポッドキャストがありますが、それに含まれていない放送局/ポッドキャストを聴きたいときに使います。

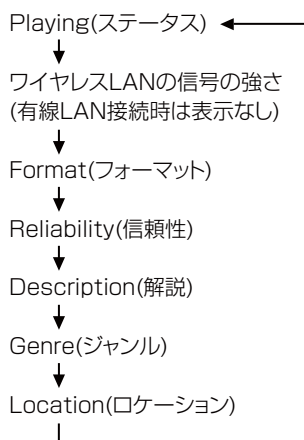
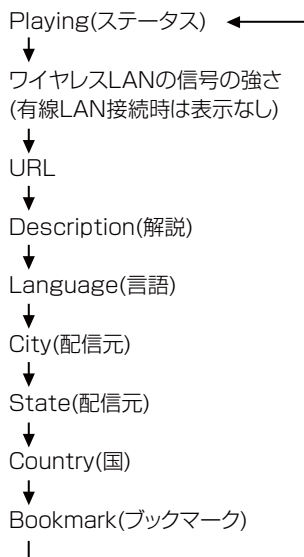
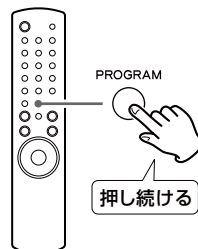
---

**サーチ方法**

1 インターネットラジオメニューが表示されたら、スクロールつまみ[MULTI JOG]を回してサーチ方法を選び、エンターボタン[ENTER]を押します。

2 スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して聴きたい放送局/Podcastを選び、エンターボタン[ENTER]を押します。

## ディスプレーの表示

情報表示ボタン[INFO]を押すたびに、以下のようにディスプレーの2行目の表示が変わります。
(1行目には放送局/ポッドキャスト名が表示されます)

**インターネットラジオ受信中**

**ポッドキャスト受信中**

## 再生中の放送局/ポッドキャストをお気に入りリストに追加するには

再生中にプログラムボタン[PROGRAM]を「Favourite Added(お気に入りに追加)」と表示されるまで押し続けます。

- 追加した放送局/ポッドキャストを聴くには、インターネットラジオメニューの「Station list (放送局/ポッドキャストリスト)」の「My favourites (お気に入り)」でサーチしてください。
- お気に入りリストは、インターネットラジオのポータルサイトでも作成できます。(次のページ)

# インターネットラジオ ポータルサイト

パソコンのWebブラウザから、インターネット上にあるラジオのポータルサイトにアクセスして、本機の機能をフルに楽しむことができます。(サイト上の表記は英語です)

**お気に入りリスト**

ポータルサイトでは、お気に入りリストを作成することができます。このリストは本機から見ることができ、よく聴く放送局/ポッドキャストを見つけるのに便利です。作成したお気に入りリストは、本機のインターネットラジオメニューの「Station list (放送局/ポッドキャストリスト)」の「My favourites (お気に入り)」で見ることができます。

**放送局/ポッドキャストの追加**

すでにあるリストに含まれていない放送局/ポッドキャストをこのリストに追加できます。このリストは、本機のインターネットラジオメニューの「Station list (放送局/ポッドキャストリスト)」の「My Added Stations (追加した放送局/ポッドキャスト)」で見ることができます。

## ポータルサイトにアクセスするには

**1** パソコンのWebブラウザを開き、以下のURLにアクセスする。

http://www.wifiradio-frontier.com

**2** “Register here”をクリックし、ユーザー登録する。

(サイト上の表記は英語です)

**3** 本機のAccess code(アクセスコード)や必要事項を入力する。

本機のアクセスコードの確認方法は、右側をご覧ください

## 本機のアクセスコードを確認するには

インターネットのラジオポータルサイトに本機を登録するとき、アクセスコードが必要です。アクセスコードは以下の手順で確認してください。

**1** 入力切換ボタン[SOURCE]を押して、チューナーモードを選ぶ。

SOURCE

● リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

**2** バンドボタン[BAND]を押してインターネットラジオ(Internet radio mode)を選ぶ。

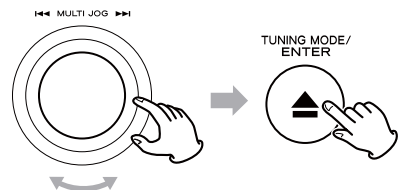
バンドボタン[BAND]を押すたびに、AM/FM/インターネットラジオが切り換わります。

● リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

**3** メニューボタン[MENU]を押して、インターネットラジオメニューを開く。

MENU/
FM MODE

**4** 「Station list」➡「Help」➡「Get access code」を選ぶ。

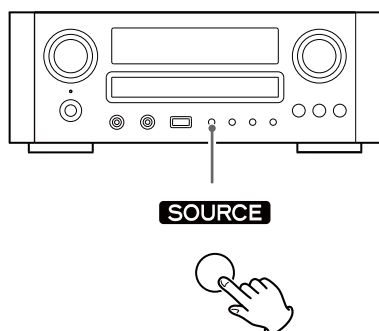
スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して項目を選び、エンターボタン[ENTER]を押して確定します。

```
Access code
SGPD7DM
```

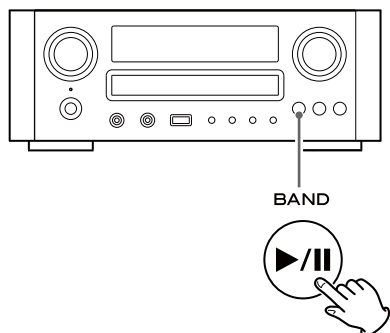
アクセスコードが表示されます。

# ネットワーク設定

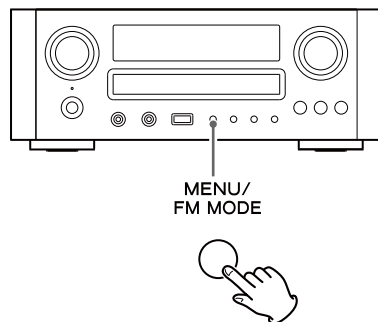
## 本機のソフトウェアアップデート

本機に内蔵されているソフトウェアは、インターネット経由でアップデートすることができます。これにより最新の機能がお使いいただけますので、定期的にアップデートすることをおすすめします。

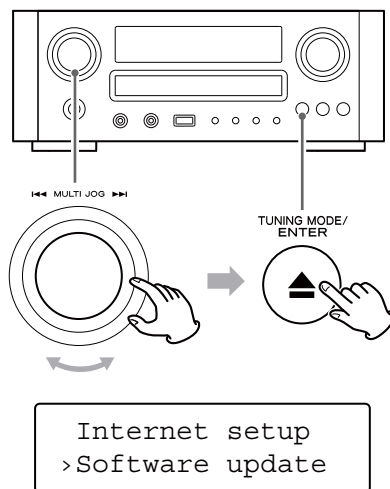
**1** 入力切換ボタン[SOURCE]を押して、チューナーモードを選ぶ。

● リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

**2** バンドボタン[BAND]を押してインターネットラジオ(Internet radio mode)を選ぶ。

バンドボタン[BAND]を押すたびに、AM/FM/インターネットラジオが切り換わります。

● リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

**3** メニューボタン[MENU]を押して、インターネットラジオメニューを開く。

**4**「Main Menu」➡「System setup」➡「Software update」を選ぶ。

スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して項目を選び、エンターボタン[ENTER]を押して確定します。

```
 Internet setup
>Software update
```

アップデートが可能な場合、自動的に最新ソフトウェアのダウンロードを開始し、インストールします。

● 以下のインターネットラジオメニューで現在のソフトウェアのバージョンを確認できます。

Main Menu → Info → SW version

インターネットラジオ

# ネットワーク設定(続き)

## セットアップウィザード

本機の設置場所を動かしたときや、ネットワークの設定を変更したとき、またインターネットへの接続に問題があるときは、セットアップウィザードでインターネット設定をしなおしてください。

インターネットラジオメニューを開きます。

Main Menu ➛ System setup
➛ Internet setup ➛ Wizard

● インターネットラジオメニューを開く手順は、前のページをご覧ください。

## ワイヤレスネットワーク設定

ワイヤレスネットワークを使い、本機の設置場所を動かしたときは、ネットワークが正しく接続できるように地域設定を変更してください。

インターネットラジオメニューを開きます。

Main Menu ➛ System setup
➛ Internet setup ➛ Wlan region

● インターネットラジオメニューを開く手順は、前のページをご覧ください。

## マニュアル設定

詳細なインターネット接続の設定を確認、変更できます。

インターネットラジオメニューを開きます。

**現在のネットワーク設定を確認する**

Main Menu ➛ System setup
➛ Internet setup ➛ View settings

**マニュアル設定する**

Main Menu ➛ System setup
➛ Internet setup ➛ Manual settings

**ネットワークプロファイルを削除する**

Main Menu ➛ System setup
➛ Internet setup ➛ Network profile

● インターネットラジオメニューを開く手順は、前のページをご覧ください。

## Radio ID(ラジオID)

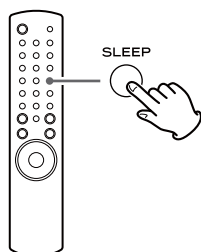
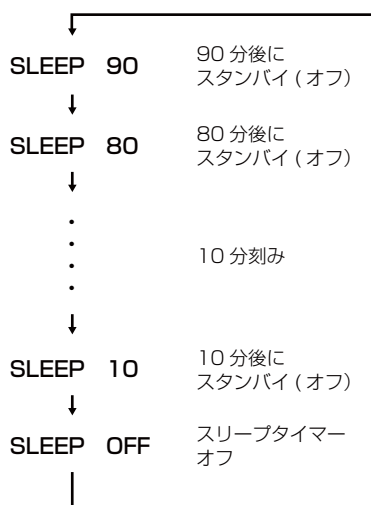
アフターサービスを受けるときに、本機のRadio IDが必要になることがあります。

インターネットラジオメニューを開きます。

Main Menu ➛ Info ➛ Radio ID

● インターネットラジオメニューを開く手順は、前のページをご覧ください。

# スリープタイマー

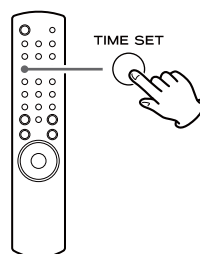
一定の時間が過ぎると電源をスタンバイ(オフ)にします。

スリープボタン[SLEEP]を繰り返し押します。
以下のように電源がスタンバイ(オフ)になる時間が変わります。

- スリープタイマーを設定すると、ディスプレーが暗くなります。
- スリープタイマーを設定したあと、スリープボタン[SLEEP]を1回押すと、電源がスタンバイ(オフ)になるまでの残り時間が3秒間表示されます。

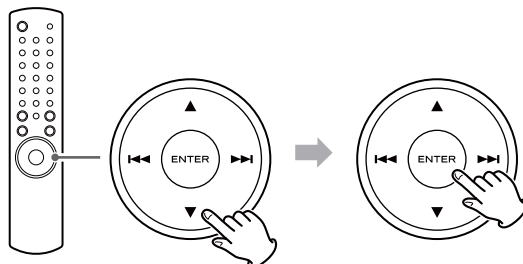
# 目覚まし/録音タイマー

設定した時間になると再生が始まる「目覚ましタイマー」、設定した時間になるとUSBメモリーへの録音が始まる「録音タイマー」の設定ができます。

- 目覚まし/録音タイマーを設定する前に、現在時刻を設定してください。(18ページ)

## タイマー時間の設定
### 目覚まし/録音タイマー共通

**1** 「On time(オンになる時間)」が表示されるまで、時刻設定ボタン[TIME SET]を繰り返し押す。

「時」表示が点滅します。

**2** スクロールボタン[ ▲/▼ ]を押して、「時」を合わせ、エンターボタン[ENTER]を押す。

「分」表示が点滅します。

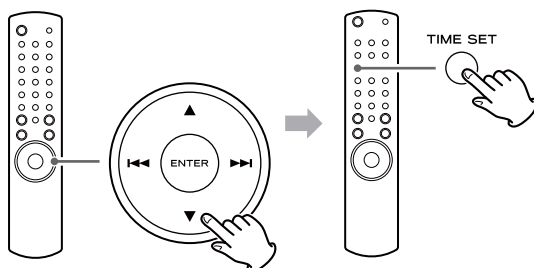
- 1分以上放置すると、タイマー設定モードは解除されます。
- タイマー設定モードをやめるには、停止ボタン[■]を押します。

インターネット ラジオ

タイマー

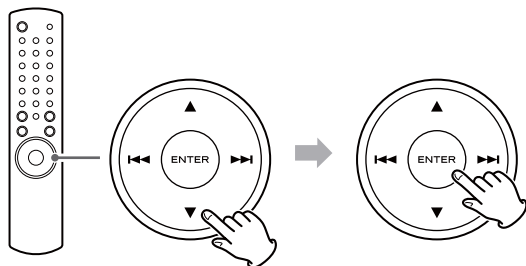
次のページに続きます

# 目覚まし/録音タイマー (続き)

**3** スクロールボタン[▲/▼]を押して、「分」を合わせ、時刻設定ボタン[TIME SET]を押す。

「Off time(オフになる時間)」が表示され、「時」表示が点滅します。

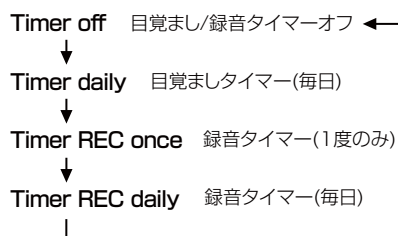
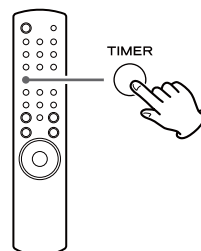
**4** **2** から **3** の手順を繰り返して、オフになる時間を設定する。

「Source select(入力ソースの選択)」が表示されます。

**5** スクロールボタン[▲/▼]を押して、入力ソースを選び、エンターボタン[ENTER]を押す。

目覚まし/録音タイマーの時間が設定されました。
**このあと、各タイマーをオン(起動状態)にする必要があります。次のページの手順で準備をしてください。**

- 目覚まし/録音タイマーで「Phono」は設定できません。
- 録音タイマーで「iPod」からの録音はできません。

## タイマーモード

タイマーボタン[TIMER]を押すたびに、以下のようにメニューが切り換わります。

## 目覚ましタイマー

毎日設定した時間に電源がオンになり、再生を始めます。設定した終了時間になると、電源がオフ(スタンバイ)になります。

**1 開始時刻/終了時刻を設定する。(45ページ「タイマー時間の設定」)**

**2 タイマーボタン[TIMER]を押して、「Timer daily」を選ぶ。**

が表示されます。

**3 再生ソースを準備する。**

iPodや外部入力機器の場合は接続し、チューナーの場合は放送局を合わせてください。
また、音量を調節してください。

● 目覚ましタイマーで「Phono」は再生できません。

**iPodを使用する場合**

入力ソースにiPodが設定されているときは、表示モードをダイレクトモード(出荷時設定)にしてください。拡張モードになっていると、開始時間になっても再生されません。(32ページ)

**iPod touchを使用する場合**

● iPod touchで「電源をオフ」にすると、本機にiPod touchを接続しても目覚ましタイマーでオンにできないことがあります。
目覚ましタイマーでiPod touchを使用する場合は、iPod touchの「電源をオフ」にしないでください。(画面のオフなどは問題ありません)

● iPod touchでビデオの選択画面になっていると、本機にiPod touchを接続しても目覚ましタイマーでオンにできません。
目覚ましタイマーでiPod touchを使用する場合は、ビデオ以外を選択するようにしてください。

**4 電源ボタン[STANDBY/ON]を押して電源をオフ(スタンバイ)にする。**

目覚ましタイマーの設定が終了しました。

## 録音タイマー

接続したUSBメモリーに、タイマー録音ができます。
開始時間になると電源がオンになり、録音を始めます。
終了時間になると、録音を停止し電源がオフ(スタンバイ)になります。

**1 開始時刻/終了時刻を設定する。(45ページ「タイマー時間の設定」)**

**2 タイマーボタン[TIMER]を押して、「Timer REC once(1回のみ録音)」または「Timer REC daily(毎日録音)」を選ぶ。**

が表示されます。

**3 録音するUSBメモリーを接続する。**

「録音の前に」(30ページ)をご覧ください。

**4 再生ソースを準備する。**

外部入力機器の場合は接続し、チューナーの場合は放送局を合わせてください。

● 「iPod」、「Phono」からはタイマー録音できません。

**5 電源ボタン[STANDBY/ON]を押して電源をオフ(スタンバイ)にする。**

録音タイマーの設定が終了しました。

## タイマーをオフにするには
### 目覚まし/録音タイマー共通

目覚ましタイマー機能を使いたくないときは、タイマーボタン[TIMER]を押して、「Timer off(目覚まし/録音タイマーオフ)」を選びます。
ディスプレーに表示されていたインジケーター( または )が消えます。

タイマー

# 困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。

## 一般

**電源が入らない。**
- ➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。差し込みが不完全ではないかを確認してください。

**音が出ない。**
- ➡ 入力切換ボタン[SOURCE]を押して、入力ソースを選んでください。
- ➡ 音量を調節してください。

**リモコンで操作できない。**
- ➡ 電池が消耗していたら、新しい電池に交換してください。
- ➡ リモコンは本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。
- ➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できませんので、位置を調整してください。
- ➡ 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。

**雑音がする。**
- ➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

## CDプレーヤー

**再生できない。**
- ➡ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
- ➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- ➡ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
- ➡ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。
- ➡ ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは本機で再生できません。

**音飛びがする。**
- ➡ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
- ➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- ➡ 傷が付いたり、ヒビが入っているディスクは使わないでください。

## MP3/WMA

**再生できない。**
- ➡ ファイルのフォーマットを確認してください。本機で再生できるのは、MP3/WMAファイルです。MPEG 1 LAYER 2ファイルなどは再生できません。

**曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない。**
- ➡ ファイルにID3タグが入っていません。パソコンなどでID3タグを編集したMP3/WMAファイルを作成し直してください。本機で録音したファイルにはID3タグは記録されません。

**正しく表示されない文字がある。**
- ➡ ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

## iPod

**再生できない。**
- ➡ iPodをいったんUSBポートから外し、数秒経ってからもう一度接続してみてください。
- ➡ 最新のiPodソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。
  下記サイトにアクセスして最新のソフトウェアをダウンロードしてください。
  http://www.apple.com/jp/downloads/

**iPodの操作ができない。**
- ➡ iPodのホールドスイッチを解除してください。
- ➡ iPod側で音量の調節はできません。
- ➡ 表示モードが拡張モードになっていると、iPod側で操作できません。

## AM/FMラジオ

**受信できない。受信状態が悪い。**

➡ 放送局を選局してください。

➡ 本体の近くにテレビがある場合は、テレビの電源を切ってください。

➡ アンテナと本体の位置や向きを変えてみてください。

➡ 電波状態が改善しない場合は、屋外アンテナを使用してください

**ステレオ放送がモノラルで受信される。**

➡ FMモードボタン[FM MODE]を押してステレオ受信に切り換えてください。

## インターネットラジオ

**インターネットに接続できない。**

➡ 同じLANに接続しているパソコンが、インターネットに接続できるか確認してください。

➡ ネットワーク接続のパスワードが間違っていないか確認してください。

➡ ネットワークのファイヤーウォールの設定を確認してください。少なくとも以下のUDPとTCPポートへのアクセスが必要です。

80、554、1755、5000、7070

**インターネット放送局/ポッドキャストが再生できない。**

➡ 発信者側で、インターネット接続の一時的な不具合が発生していることがあります。

➡ インターネットに正しく接続されているか確認してください。

**Station list(放送局/ポッドキャストリスト)で聴きたい放送局/ポッドキャストが見つからない。**

➡ パソコンのWebブラウザで、ラジオポータルサイトにアクセスして、放送局/ポッドキャストをリストに追加してください。(42ページ)

➡ 放送局/ポッドキャストが現在は配信されていないかもしれません。

➡ 放送局/ポッドキャストへのアドレスが変更されたかもしれません。

➡ 放送局/ポッドキャストの登録者が規定の数に達しているため、すでに公開されていないかもしれません。

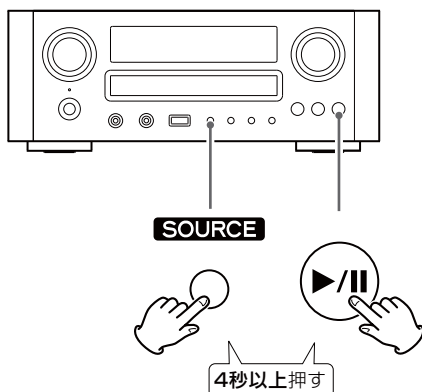
➡ インターネット接続速度が遅すぎると、サーチに時間がかかることがあります。

**本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。**

以上の操作をしても正常な動作をしない場合は、下の「工場出荷状態に戻すには」の手順で、初期設定状態に戻して再度操作してください。

## 工場出荷状態に戻すには

本機が正常に動作しない場合、工場出荷時の初期設定状態に戻すことによって、正常な状態に戻ることがあります。

電源オフ(スタンバイ)のとき、本体の入力切替ボタン[SOURCE]と再生/一時停止ボタン[▶/❚❚]を4秒以上押し続けます。

電源がオンになり、全ての設定は初期設定に戻ります。

● コンセントから電源コードが2週間以上抜かれた状態のままでいると、内蔵メモリーに記憶された設定内容(タイマー設定やプリセット設定など)が消去されます。

● 設定を記憶する内蔵メモリーの充電は3日程度かかります。

# 仕　様

**アンプ**

定格出力 . . . . . . . . . . . . . 40W/ch (6Ω、0.5%、1kHz)
入力感度 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . Phono: 2.5mV/47kΩ
AUX1、AUX2: 200mV/47kΩ
周波数特性 . . . . . . . . . . . . . 20Hz 〜 60kHz(+1/–3dB)

**AMチューナー**

受信周波数 . . . . . . . . . . . . . . . . .522kHz 〜 1,629kHz
S/N比 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . .35dB

**FMチューナー**

受信周波数 . . . . . . . . . . . . . . . . 76.0MHz 〜 90.0MHz
S/N比 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . .65dB(Mono)
60dB(Stereo)

**USB**

**再生**

周波数特性 . . . . . . . . . . . . . . . .20Hz 〜 20kHz(±2dB)
S/N比 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 85dB以上

**録音**

周波数特性 . . . . . . . . . . . . . . . .20Hz 〜 15kHz(±2dB)
S/N比 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 85dB以上

**インターネットラジオ**

フォーマット . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . .MP3、WMA

**インターネット接続**

LANターミナル . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 10BASE-T
無線LAN規格
IEEE 802.11b 準拠 (変調方式：DSSS)
IEEE 802.11g 準拠 (変調方式：OFDM)
周波数帯域
2,412MHz 〜 2,472MHz (5MHzステップ)
CH数. . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . .13CH
セキュリティ . . . . . . . . . . . . . . . . WEP、WPA、WPA2

**一般**

電源 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . .100V AC、50-60Hz
消費電力. . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 100W
0.5W(スタンバイ時)
外形寸法(幅、高さ、奥行). . . . . .290 x 113 x 340mm
質量 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . .5.6kg

**付属品**

リモコン(RC-1225)×1
リモコン用乾電池(単4)×2
電源コード×1
AMループアンテナ×1
FMアンテナ×1
取扱説明書(本書)×1
保証書×1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

# 保証とアフターサービス(よくお読みください)

## ■保証書
この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

## ■補修用性能部品の保有期間
当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は
修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

## ■修理を依頼されるときは
48ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

### 保証期間中は
修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

### 修理料金の仕組み
技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他：製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

### 修理の際ご連絡いただきたい内容
型名：AM/FM ステレオCDレシーバー
CR-H500NT
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

## ■廃棄するときは
本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

### 分解･改造禁止
この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

### 音のエチケット
楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

**ティアック株式会社**
〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　http://www.teac.co.jp

## この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

**0570-000-701**
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

## 故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

**0570-000-501**
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

1109·MA-1520A